



NVR ファミリー

[NVR-116,108,104]

操作説明書

作成：2012/04/13

(修正 7.3 版)



NVR ファミリー操作説明書

改訂履歴

2009/06/17	初版作成
2009/7/7	修正版作成
2009/12/8	修正 2 版作成
2009/12/24	修正 3 版作成
2010/03/12	修正 3_2 版作成
2010/03/1	修正 4 版作成
2010/08/03	修正 5 版作成
2010/08/31	修正 5.1 版作成
2010/12/10	修正 6 版作成
2011/08/04	修正 7 版作成
2011/10/21	修正 7.1 版作成
2012/03/21	修正 7.2 版作成
2012/04/13	修正 7.3 版作成

目 次

はじめに.....	6
[保証の制限].....	6
[注意].....	7
本製品のセットアップ.....	9
1-1 本製品の起動.....	9
1-2 本製品の停止.....	9
1-3 正面パネルの内容.....	10
1-4 本製品管理画面へのアクセス手順.....	11
1-5 本製品の検出.....	11
A 操作編.....	13
1. ライブ映像の閲覧.....	13
1-1 ライブ映像の閲覧方法.....	13
1-1-1. ライブ映像の閲覧.....	13
1-1-2. ライブビデオコントロールボタン.....	14
1-4 PTZ プリセット位置表示・オートパン.....	17
1-4-1. プリセット位置映像の表示.....	17
1-4-2. オートパン映像の表示.....	17
1-4-3. PTZ ツアー.....	17
1-5 マップモニター.....	18
1-5-1. ローカルマップモニター.....	18
1-5-2. Google マップモニター.....	19
1-6 カメラステータス.....	20
2. 録画再生.....	21
2-1 特定時間で再生.....	21
2-2 タイムチャート再生.....	21
2-3 特定時間で再生.....	22
2-4 イベントによる再生.....	23
2-5 最新のイベントによる再生.....	23
2-6 録画再生コントロールパネル.....	24
2-7 AVI 出力.....	24
1. システム設定.....	26
1-1 管理画面の表示.....	26
1-2 言語の切り替え.....	26

1-3	設定画面	28
1-4	ネットワークの設定	29
1-5	DDNS サービスの設定	30
1-6	日時の設定	31
1-7	ユーザーアカウントの設定	32
1-8	ユーザーアカウントの編集・削除	33
1-9	グループ権限の設定	34
1-10	グループ権限の設定	36
2.	カメラの登録	37
2-1	カメラの登録手順	37
2-2	OSD(オンスクリーン表示)	40
3.	PTZ 設定	41
3-1	PTZ プリセット	41
3-1-1	手動登録	41
3-1-2	設定変更	41
3-1-3	登録の削除	41
3-1-4	「カメラと同期」による登録	41
3-2	PTZ ツアー	43
4.	E-マップモニター	44
4-1	E-マップモニター[ローカルマップ]の設定	44
4-1-1	マップ画像の変更	44
4-1-2	カメラアイコン	44
4-2-1	カメラ設置場所の地図検索	46
5.	イベント構成	47
5-1	一般設定	47
5-1-1	イベントトリガー有効時間	47
5-1-2	イベントトリガー間隔	47
5-1-3	トリガーアクション	47
5-2	イベント構成 I/O 設定	49
5-3	イベントサーバー	51
5-3-1	FTP サーバ	51
5-3-2	SMTP サーバ	52
5-4	イベントトリガー	53
5-4-1	カメラトリガ発生要因 (①)	53
5-4-2	NVR トリガー発生要因 (②)	53
5-4-3	トリガーアクション (③)	54

6. 録画設定	55
6-1 一般設定	55
6-1-2 録画フレームレート (②)	56
6-1-3 画像保存制限 (③)	56
6-1-4 カメラ録画設定 (④)	56
6-1-5 録音 (⑤)	57
6-2 スケジュール録画設定	57
7 システム・オプション	59
7-1 機器情報	59
7-2 システムログ	59
7-3 メンテナンス	59
7-3-1 NVR 再起動	59
7-3-2 NVR 自動再起動	59
7-3-3 カメラの再起動	60
7-3-4 NVR ファームウェアのアップグレード	60
7-3-5 NVR の設定ファイルをバックアップ	60
7-3-6 NVR の修復	60
7-3-7 工場出荷時の状態にリセット	60
7-3-8 NVR のウェブ UI のロゴを変更	60
7-4 デジタル出力 (DO) ステータス	62
7-5 ディスク・ステータス	63
7-6 USB 接続バックアップ	63
7-7 NVR Media Player の使用方法	64
7-8 UPS 設定	66
付録	67
I/O ポートと RS485	67
製品仕様	67
Axis241Q ビデオサーバのイベント録画手順	68
スマートフォンによる閲覧	71
NVRMobileViewer の使用方法	73
32GB 以上の USB 接続ストレージのフォーマット方法	78

はじめに

本製品をご購入いただき、ありがとうございます。本ユーザマニュアルでは、本製品の取り扱い、並びに使用方法を説明します。

- (1) 本書に記載されているすべての機能、仕様、特長その他は予告なしに変更されることがあります。
- (2) 記載されているすべてのブランド名および製品名は各社の登録商標です。
- (3) 説明書内の画面イメージが実際と違う部分があります。基本機能は変わりませんのでご了承ください。

[保証の制限]

- (1) いかなる場合も、株式会社システム・ケイ(以下弊社)は直接、間接を問わず製品に対して支払われた価格を超えて責任を負うことはありません。
- (2) 弊社は本製品及および付随するすべてのソフトウェア及びドキュメントの内容や使用に関して明示的または黙示的または法的に保証するものではなく、またその品質、性能、使用目的への適合性を保証するものではありません。
- (3) 弊社は本製品の顧客へ事前の予告なしに製品、ソフトウェア、またはマニュアルを改訂または更新する権利を留保します。
- (4) 弊社はこのマニュアルの技術的、印刷上の誤りについて、一切の責任を負いません。また弊社は予告なく製品やマニュアルの記載内容に対して変更・修正を行うことがあり、将来にわたるいかなる約束を表明するものではありません。
- (5) 弊社は製品およびソフトウェアの使用の結果に生じた、偶発的な損害および間接的な損害、またこれらに付随する事業上の利益の損失、データの喪失、その他使用に起因して生じていかなる損害に対しても責任を負いません。
- (6) 弊社はこのマニュアルに含まれる記述、製品の商業価値および製品の特定用途に対する適合性について、明示的また黙示的な保証を一切致しません。

[注意]

(1) データの毀損を回避するために、定期的なシステムのバックアップを強く推奨します。弊社はいかなる種類の、データの毀損に関して責任を負いません。
本製品の修理のために返品する場合、電子機器の郵送として不適切な梱包による損傷は保証対象外となります。

(2) [安全に関する警告]

- ① 本製品の動作温度、相対湿度を守ってください。
- ② 本製品には正しい供給電圧(AC100~200V)を提供する必要があります。
- ③ 本製品を直射日光にさらしたり、化学物質・液体の傍に設置したりしないでください。
本製品を清掃する場合は、電源コードと接続されているすべてのケーブルを抜いてください。
- ④ 化学薬品やエアゾールで本製品をクリーニングしないでください。
- ⑤ 本製品の上に物を置かないでください。
- ⑥ ハードディスクを取り付ける際は、本書に基づき本体ハードディスク・スロットにしっかり留めてください。
- ⑦ 本製品を不安定な物の上に設置しないでください。落下した場合本体を毀損する場合があります。
- ⑧ 本製品を使用する場合、電圧が正しいことを確認してください。不明な場合は、管轄の電力会社にお問い合わせください。
- ⑨ 本製品電源コードの上に物を置かないでください。断線の原因となります。
- ⑩ いかなる場合でも、本製品を自分で修理することはおやめください。製品を不適切に分解すると、感電その他の危険にさらされます。また製品保証の対象外となります。

[追記]

本製品管理及び設定画面にて、本製品名を SVR(ネットワークレコーダ)と表記している場合がありますが、本製品(機種名:NVR-116,108,104)を意味しますのでご了承下さい。

NVR ファミリー操作説明書

本製品と付属品一覧

- ・本製品(NVR ファミリーはタイプ毎にパネルのロゴのカラーは異なります)



※画像 NVR-116

- ・イーサネットケーブル



- ・AC 電源コード



- ・CD-ROM



添付ソフト&マニュアル

- ・ Adobe Acrobat Reader
 - ・ クイックインストールガイド
 - ・ ユーザマニュアル、その他資料
 - ・ 統合管理ソフトウェア
 - ・ NVR サーチ(検出)ソフトウェア
-
- ・ トラブルシューティング
 - ・ NVR かんたん操作ガイド
 - ・ 保証書

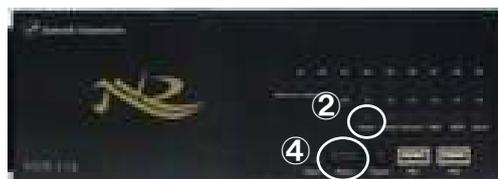
本製品のセットアップ

1-1 本製品の起動

- (1) AC 電源コードを本体背面の AC ポート①に接続します。電源の LED②の表示が赤色に変わります。
- (2) 本製品の背面パネルの LAN ポート③にイーサネットケーブルを差込み、ネットワークに接続します。
- (3) ネットワークに接続した後、本製品前面パネルの電源ボタン④を 1 秒程度押して電源を入れます。電源の LED 表示が赤色から橙色の点滅に変わり、30 秒ほど経過するとブザー音が鳴り、電源の LED 表示が緑色に変わり、本製品のシステムが起動します。



背面パネル



前面パネル

1-2 本製品の停止

- (1) NVRが動作中の状態より、本製品前面パネルの電源ボタン④を 2 秒程度押します。電源の LED 表示が緑色から橙色の点滅に変わり、30 秒ほど経過すると電源の LED 表示が赤色に変わり、システムが停止します。

※ 停電等で本製品が停止した後に電源復旧した場合は、自動で再起動します。

※ 1-2 の本製品の停止の手順で停止した場合は、1-1 本装置の起動(3)の手順にて起動する必要があります。

1-3 正面パネルの内容

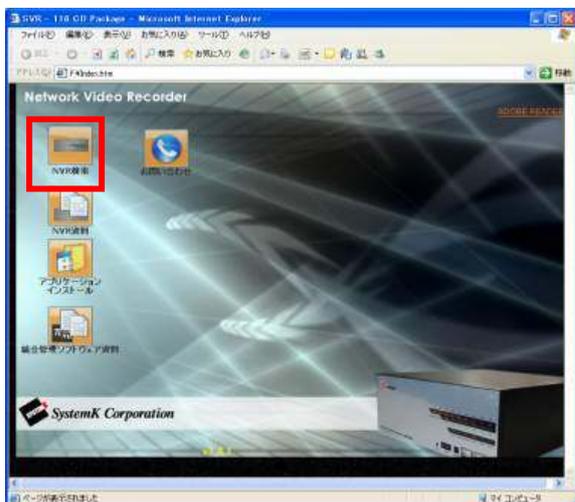
本体前面の LED はハードウェアの動作状態を表示します。



項目	LED 表示	作動状態/用途
①カメラステータス 最大 16 チャンネル	緑色	ライブ表示中(録画なし)
	赤色	接続されているが未動作、未接続
	橙色 点滅	手動又はイベント録画中
	橙色	スケジュールまたは連続録画中
②電源	緑色	正常動作中
	赤色	システム オフ(電源コード接続中)
	橙色 点滅	起動中/停止中等 システム動作中
③システムステータス	橙色 点滅	ファームウェア更新中
	緑色	正常動作中
	緑色 点滅	ファームウェア更新中完了時に点滅、その後正常動作表示
	赤色 瞬間的に光る(閃光)	ファームウェアの更新に失敗したとき
④ネットワーク	橙色	1Gbps で動作中
	緑色	10/100Mbps で動作中
⑤ハードディスク1/ ⑥ハードディスク2	緑色	正常動作中
	赤色	ディスクエラー
	橙色 点灯	録画中
	橙色 点滅	古いデータの削除中
⑦アラーム	赤色 点滅	アラーム発生中
	消灯	アラーム未発生
⑧リセットボタン	—	装置リセット ※5 秒以上押すと設定値が初期化されます。
⑨電源ボタン	—	電源の ON/OFF 用(ON時 1 秒程度/OFF 時 2 秒程度押下)
⑩ブザーボタン	—	イベント等でブザー音が鳴った時に押下して停止させる
⑪⑫USB ポート	—	—

1-4 本製品管理画面へのアクセス手順

- (1) 製品添付の CD-ROM をネットワークに接続している PC の CD ドライブに挿入します。
- (2) 自動で下記の画面が表示されます。
- (3) 下記画面左側メニューから「NVR 検索」をクリックして、本製品を検出します。



1-5 本製品の検出

- (1) 本製品が検出されると下の画面に本製品の IP アドレスが表示されます。
- (2) 表示されたアドレスをクリックし本製品管理画面にアクセスします。
- (3) DHCP サーバのあるネットワーク環境に本製品を接続した場合、DHCP サーバより自動で付与された IP アドレスが本製品に付与されます。

状態	IPアドレス	Http ポート	ブランド	モデル	MAC アドレス
	172.32.0.119	80	SystemK	NVR-116	00-22-4e-d0-00-da

(4) DHCP サーバを持たないネットワーク環境に本製品を接続した場合、本製品は「192.168.101.50」が初期設定の IP アドレスとなります。

この場合、本製品にアクセスする PC の IP アドレスを、事前に本製品と同じアドレス体系に設定し、下記の手順で NVR にアクセスします。

例：IP アドレス 192.168.101.50 の NVR にアクセスした場合

- i. ブラウザに NVR の IP アドレス(<http://<NVRのIPアドレス>>)を入力しアクセスします。(例の場合、“<http://192.168.101.50/>”となります。)
- ii. 下記ログイン画面にユーザ名とパスワードを入力します。

※ 初期設定はユーザ名とパスワード共に「**admin**」です。



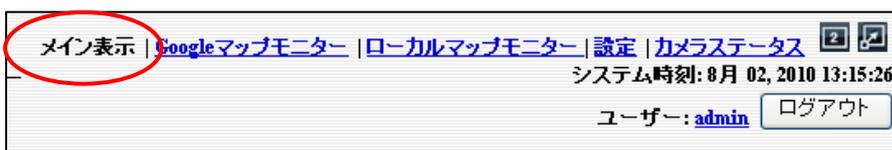
A 操作編

1. ライブ映像の閲覧

1-1 ライブ映像の閲覧方法

1-1-1. ライブ映像の閲覧

最初に管理画面右上の「メイン表示」を選択します。次に左側上部のライブ表示を選択します。



- (1) カメラ 1 台を表示するときは①のカメラツリーから「カメラ名」をクリックします。
- (2) グループ(4カメラ)全てのカメラを表示するときは、「Group」をクリックします。
※ NVR-104 の場合は、グループが 1 つのため、「ALL」表示のみになります。
- (3) 全てのカメラを表示する場合は「ALL」をクリックします。
※ カメラツリーのアイコン表示(青:ライブ表示中、赤:ライブ表示・録画中、グレー:カメラ未接続、白:カメラ登録されているが未接続)。
※ 「ALL」の表示は、アカウントタイプがアドミニストレータの場合のみ対応しています。アカウントタイプについては、p31「1-6 ユーザアカウントの設定」および P33「1-8 グループ権限の設定」を参照してください。ただし、NVR-104、304basic に関しては、全てのアカウントタイプにて「ALL」表示が可能となります。



1-1-2.ライブビデオコントロールボタン

(1) スナップショット

スナップショット画像がポップアップで表示されます。画像の上で右クリックし、任意のフォルダに保存してください。

(2) 音声

音声を聞くことができます。

※ カメラにマイクが内蔵・接続されている必要があります。

※ クライアント PC にスピーカーが内蔵または接続されている必要があります。

※ 音声非対応のカメラの場合でもアイコンはチェック可能です。チェックがついていても音声対応はできません。

(3) 手動録画

手動録画を開始します。

(4) 通話

カメラへ音声を発することができます。

※ カメラにスピーカーが内蔵または接続されている必要があります。

※ クライアント PC にマイクが内蔵または・接続されている必要があります。



1-2 シーケンス（一定の間隔・順序で画面を切り替えて表示させる機能）

- (1) シーケンスさせる場合は、「シーケンス」①をクリックします。
 - (2) シーケンスさせたいカメラまたはグループ②をチェックします。
 - (3) 表示間隔を③から選択し、「開始」ボタン④をクリックするとシーケンスが開始します。（表記が「停止」に変わります。）「停止」ボタンをクリックすると停止します。
- ※ 「全チャンネル」をクリックすると、登録してある全てのカメラにチェックが入ります。1画面単位で指定した秒数毎に切り替えて表示されます。
 - ※ 「全グループ」をクリックすると、登録してある全てのグループにチェックが入ります。4グループ4分割の画面で、指定した秒数毎に切り替えて表示されます。
- なお、NVR-104、304basic には「全グループ」ボタンがありません。
- ※ シーケンスでグループ表示をする際は、音声の再生が無効となります。
 - ※ シーケンスからライブ表示に切り替えるときは、メニューバーから「ライブ表示」をクリックします。



1-3 PTZ カメラのコントロール

- (1) PTZ カメラを操作する場合は、最初に「ライブ表示」メニュー①で各グループ（「Group1」～「Group4」）または「ALL」を選択すると、②に操作可能な PTZ カメラのリストが表示されます。
- (2) 次に②から PTZ カメラを選択します。
- (3) カメラの視点を動かす場合は、③のパネルの矢印（▲等）をクリックします。
- (4) ズームイン・ズームアウト・ホームポジションへの移動は、③のパネルの各ボタンをクリックします。

ZOOM IN : ズームイン（レンズの倍率を上げます）

ZOOM OUT : ズームアウト（レンズの倍率を下げます）

HOME : ホームポジションへの移動

※ ホームポジションの設定については p40「3-1 PTZ プリセット」を参照してください。

- (5) カメラのピント(焦点距離)、絞り(アイリス)調整は⑤のパネルから操作します。



■ PTZ 移動指定(④)

カメラの視点移動/ズームのコントロールでの移動範囲の設定を行います。「1」～「10」をクリックして設定します。一回の操作にて、「1」は移動が少なく「10」は移動が大きくなります。非サポートカメラは『このカメラはサポートしていません』と表示されます。

■ 焦点距離(⑤)

Focus Far : 遠くにピント調整

Focus Near : 近くにピント調整

Focus Auto : ピントの自動調整

■ 絞り(アイリス)(⑤)

Iris Close : 絞りを閉じる（暗くなる）

Iris Open : 絞りを開ける（明るくなる）

Iris Auto : 絞りの自動調整

※ PTZ コントロール機能をサポートしているカメラは②に機種名が表示されます。

1-4 PTZ プリセット位置表示・オートパン

1-4-1. プリセット位置映像の表示

PTZ カメラをプリセットポジションに移動します。

- (1) PTZ コントロールパネルから「プリセット」①を選択します。
- (2) カメラ②を選択します。
- (3) プリセットポジション③を選択します。
- (4) 「移動」ボタン④をクリックします。

※ プリセットポジションの設定については、p 40 「3-1 PTZ プリセット」を参照してください。

1-4-2. オートパン映像の表示

- (1) 「パン操作」ボタン⑤をクリックすると、左右へパン操作を行うことができます。
- (2) 「オートパン」ボタン⑥をクリックすると、自動で旋回します。

※ 一部のカメラでは「パン操作」ボタンに対応していません。その場合は「オートパン」を使用してください。

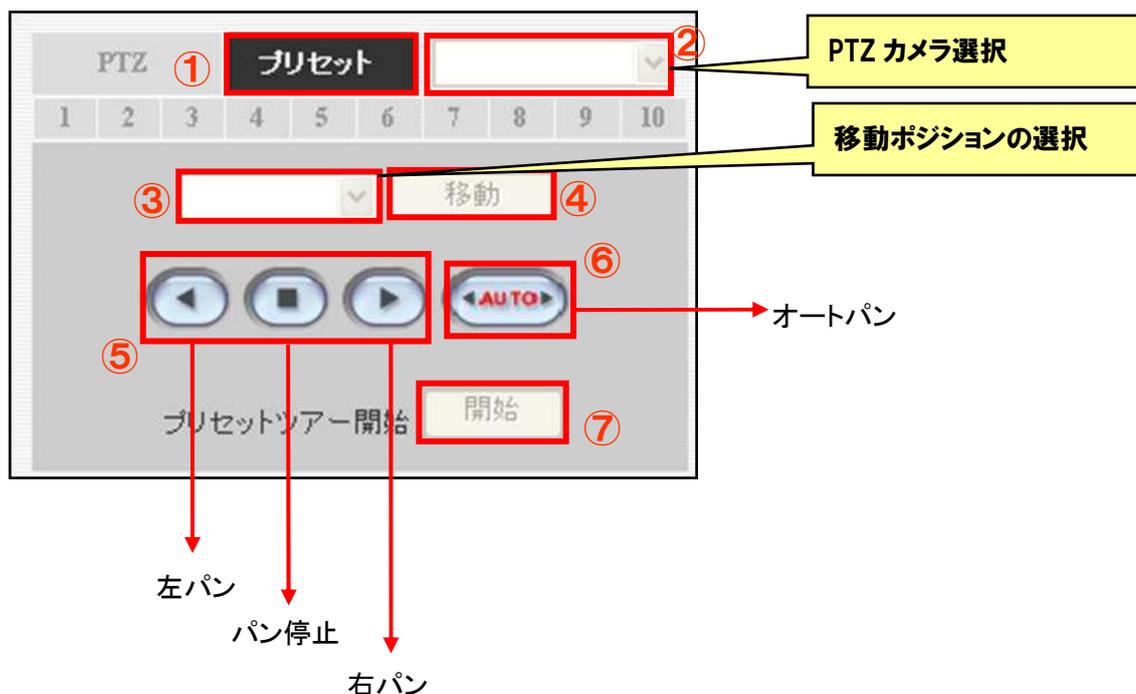
1-4-3. PTZ ツアー

PTZ カメラを自動巡回(PTZ ツアー)させます。

- (1) 「プリセットツアー開始」表記横の「開始」ボタン⑦をクリックします（表記が「停止」に変わります）。
- (2) 停止する場合は「停止」ボタン⑦をクリックします（表記が「開始」に変わります）。

※ あらかじめ p42 「3-2 PTZ ツアー」の手順に従って登録をしておく必要があります。

※ 1-4 の機能に対応しているカメラは下記②に機種名が表示されます。



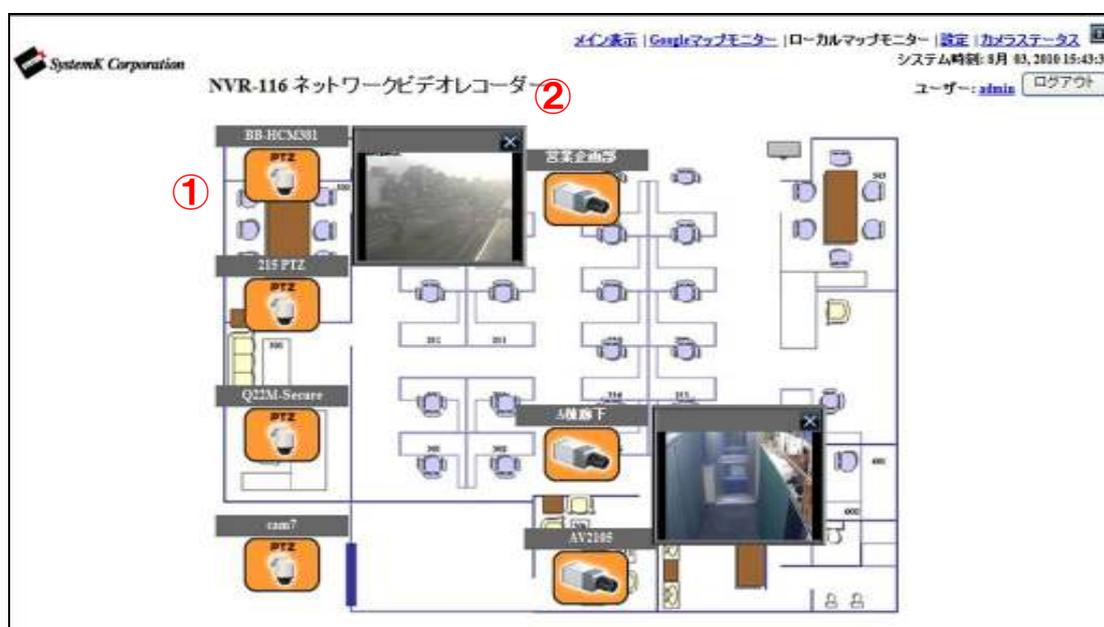
1-5 マップモニター

1-5-1. ローカルマップモニター



メイン画面右上部の『ローカルマップモニター』をクリックすると、設定したマップ上に、カメラ位置とカメラ映像を表示することができます。

- (1) カメラのアイコン①をクリックすると、ライブ画面が表示されます。
- (2) ライブ画面上の×ボタン②をクリックすると、ライブ画面が消えます。



1-5-2. Google マップモニター



メイン画面右上部の『Google マップモニター』をクリックすると、Google マップ上に、カメラ位置とカメラ映像を表示することができます。

- (1) カメラのアイコン①をクリックすると、ライブ画面が表示されます。
- (2) ライブ画面上の×ボタン②をクリックすると、ライブ画面が消えます。



1-6 カメラステータス

メイン画面右上部の『カメラステータス』をクリックすると、別ウィンドウで下記のカメラステータスが表示され、カメラの動作状況を確認することができます。

SystemK Corporation		NVR-116 ネットワークビデオレコーダー						システム時刻: 8月 03, 2010 16:25:51 ユーザー: admin	
チャンネルID	1	2	3	4	5	6	7	8	
チャンネルステータス	録画	ライブ	録画	録画停止	録画	録画	録画	録画	
チャンネル名	BB-HCM381	営業企画課	215 PTZ	A種廊下	AV2105	Q22M-Secure	cam7	213	
IPアドレス	172.30.224.43	172.30.100.187	172.30.224.144	172.30.224.102	172.30.100.188	172.30.224.48	172.30.224.46	172.30.224.123	
HTTPポート	80	80	80	80	80	80	80	80	
連続録画	録画		録画		録画	録画	録画	録画	
スケジュール録画									
イベント録画									
手動録画									
圧縮方式	MJPEG	MPEG4	MJPEG		H.264	MJPEG	MJPEG	MPEG4	
解像度	640x480	640x480	4CIF		800x600	640x480	640x480	4CIF	
フレームレート	1 fps	11 fps	5 fps		23 fps	3 fps	1 fps	3 fps	
ビットレート	156 kbps	515 kbps	1378 kbps		4873 kbps	1607 kbps	1122 kbps	267 kbps	
チャンネルID	9	10	11	12	13	14	15	16	
チャンネルステータス									
チャンネル名									
IPアドレス									
HTTPポート									
連続録画									
スケジュール録画									
イベント録画									
手動録画									
圧縮方式									
解像度									
フレームレート									
ビットレート									

[カメラステータスの概要]

項目	表示内容
チャンネルID	カメラチャンネル番号
チャンネルステータス	ライブ:ライブ表示のみ作動中
	接続停止:カメラとの接続停止状態
	録画:ライブ表示と録画動作中
チャンネル名	カメラ設定名の表示(初期設定は機種名表示)
IP アドレス	カメラ IP アドレスの表示
HTTP ポート	カメラポート番号
連続録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
スケジュール録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
イベント録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
手動録画	録画中は録画表示、録画停止中は空欄
ストリーム形式	画像フォーマット(MJPEG,MPEG-4,H.264)の表示
解像度	画像解像度の表示
フレームレート	1 秒間のフレームレートの表示
ビットレート	1 秒間のデータ転送レートの表示

2. 録画再生

2-1 特定時間で再生

メニューから「録画再生」①を選択します。

(1) 次にカメラ②を選択します。選択すると背景色が黒色から赤色になります（同時に4カメラまで選択できます）

(2) 再生画像の「検索モード」③を選択します。

※ 検索モードは「タイムチャート」、「特定時間」、「イベント」、「最新イベント」の4種類です。

(3) 次に「検索」④ボタンをクリックします。



2-2 タイムチャート再生

タイムチャートで録画データを検索します。

録画データはタイムチャート上に濃い灰色で表示されます。

(1) 最初に①の画面で年、月、日(灰色表示画面)を選択しクリックします。

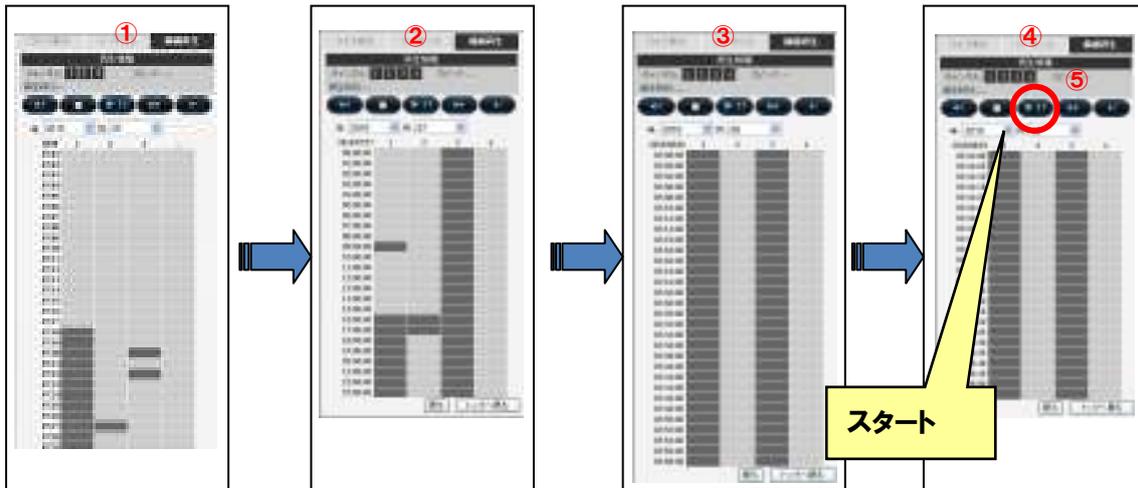
(2) 指定した日のタイムテーブル②が表示されるので、時間を選択しクリックします。

(3) 次に2分間隔のタイムチャート③が表示されます。時間を指定してクリックするとさらに5秒単位のタイムチャート④が表示されます。

(4) 再生開始時間をクリック、もしくは選択してスタートボタンをクリックすると再生が開始します。

(5) 再生スピードを変える場合は⑤のボタンをクリックします。最大32倍速で再生します。

※ 詳細はp24「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



※ 再生は①～④のどのチャートからでもスタートできます。

2-3 特定時間で再生

- (1) 検索モードで「特定時間で」を選択し次に「検索」ボタンをクリックします。
- (2) 日付の右の「▼」マーク ① をクリックすると、カレンダー②が表示されますので、再生開始日を指定し、日時③にてます。
- (3) 時刻
- (4) スタートボタンをクリックすると再生されます。

※指定の日時以降で最も近い日時の録画が再生されます。

※詳細はp24「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



2-4 イベントによる再生

ここではカメラのモーション検知、外部センサーに反応(イベント)した録画データを検索します。

(1) 録画再生の検索モードで「イベントで」①を選択します。

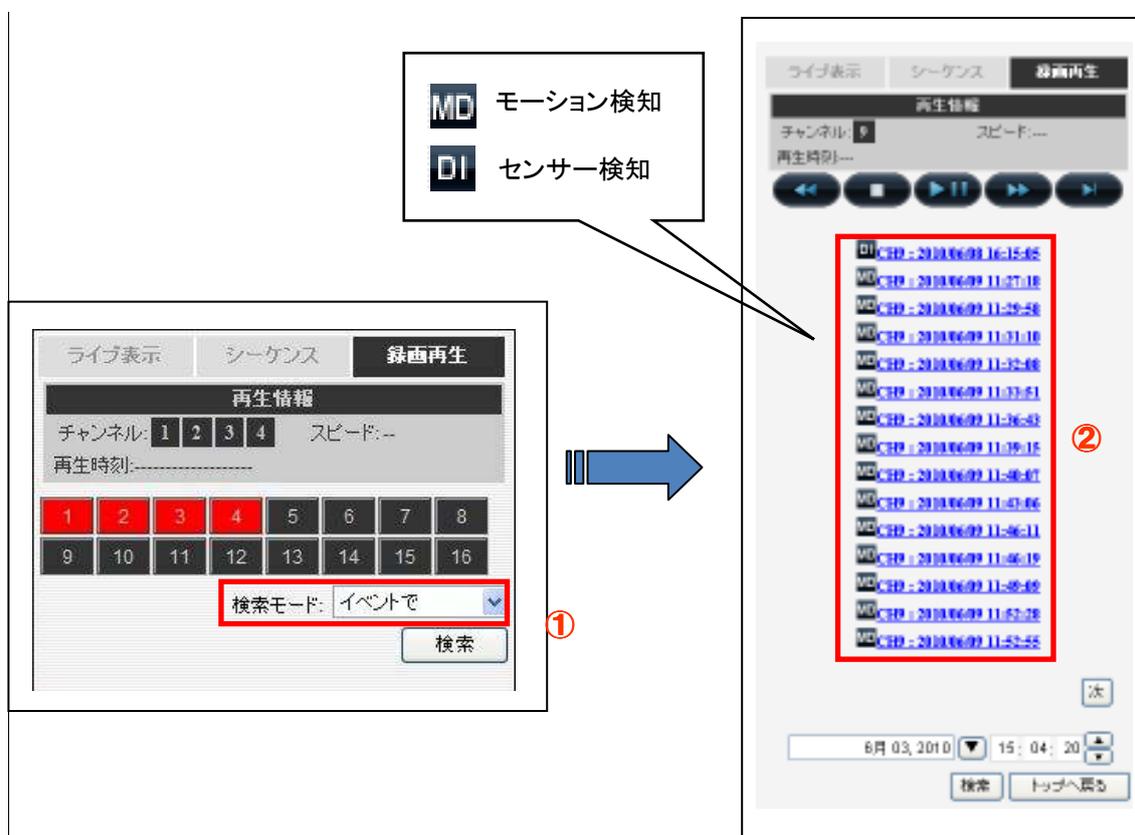
(2) イベントリスト②が表示されます。

※ 検索結果の表示可能数は、指定した日時を基点として古い順に 15 件表示されます。
それ以降については、「次」をクリックすることで表示されます。

検索条件により、最新のイベントは含まれない場合がありますので日時を調整して検索してください。

(3) イベントをクリックすると再生がスタートします。

※ 詳細は p24 「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。



2-5 最新のイベントによる再生

(1) 録画再生の検索モードで「最新のイベントで」を選択します：

(2) 次にイベントリストが表示されます。

※ 新しい順に 15 件表示されます。

(3) 表示されたイベントをクリックすると再生がスタートします。

※ 詳細は p23 「2-6 録画再生コントロールパネル」を参照してください。

2-6 録画再生コントロールパネル

録画データの再生は下記のコントロールパネルで操作します。

再生／一時停止、停止、早送り(最大 32 倍速)・巻戻し(最大 32 倍速)が可能です。

※ クリックすると、動作中の操作表示ボタンが「青→白」に変わります。

※ 停止をクリックすると、画面はブランクとなり、再生イベントリストの先頭に戻ります。



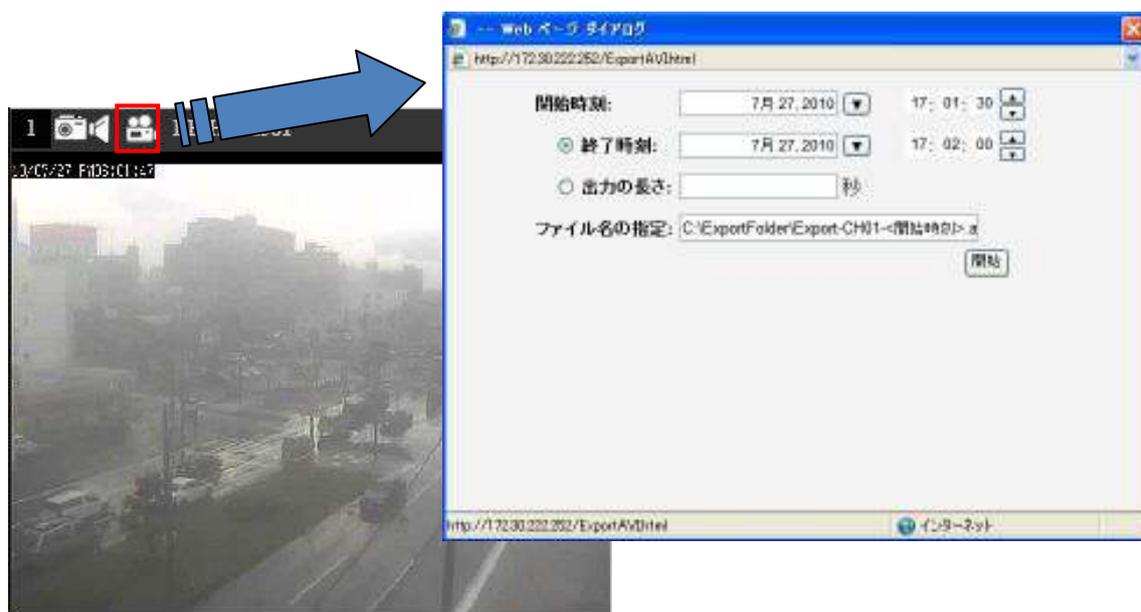
2-7 AVI 出力

録画データを AVI ファイルとして出力することができます。

- (1) 開始日時を選択します。
- (2) 終了時刻または出力する秒数を指定します。
- (3) 出力先フォルダを指定し「スタート」ボタンをクリックします。

デフォルトの出力先・ファイル名は「C:\¥ExportFolder¥Export-CH01-<開始時刻>.avi」となります。

※ デフォルトファイル名の「CH××」は、カメラのチャンネル番号が入ります。



※ 出力先フォルダを指定する場合は、半角英数字を使用して下さい。その他の項目については変更しないで下さい。また出力されたファイルがウィンドウズメディアプレーヤ等で再生できな

NVR ファミリー操作説明書

い場合は、ffdshow(フリーのコーデック)等をインストールして下さい。

また添付 CD に付属している NVR Media Player で再生可能です。

※NVR Media Player は統合ソフトをインストールすると同時にインストールされます。

この他 VLC Media Player (フリーのメディアプレーヤー) でも再生可能です。

※ ffdshow/VLC Media Player のインストールは本製品のサポート対象外です。

B 設定編

- ※ 本製品でシステム設定変更を実施し完了メッセージが表示されても、設定変更画面が再表示されるまで他の動作に移らないで下さい。設定変更が無効になります。

1. システム設定

1-1 管理画面の表示

- (1) 最初にブラウザのアドレス欄に NVR の IP アドレス (<http://<NVRのIPアドレス>>) を入力しアクセスします。
- (2) 下記ログイン画面にユーザ名とパスワードを入力します。
 - ※ 初期設定はユーザ名とパスワード共に「**admin**」です。
 - ※ ユーザ名とパスワードの設定については p 32 「1-7 ユーザーアカウントの設定」を参照してください。

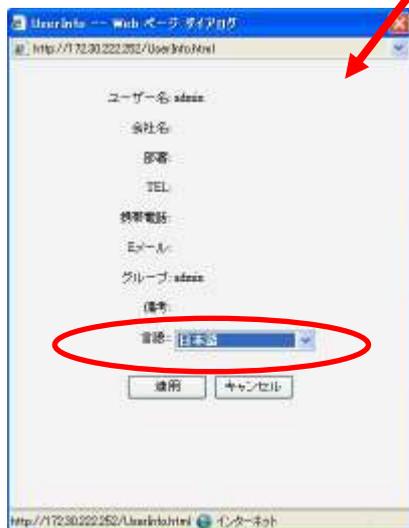
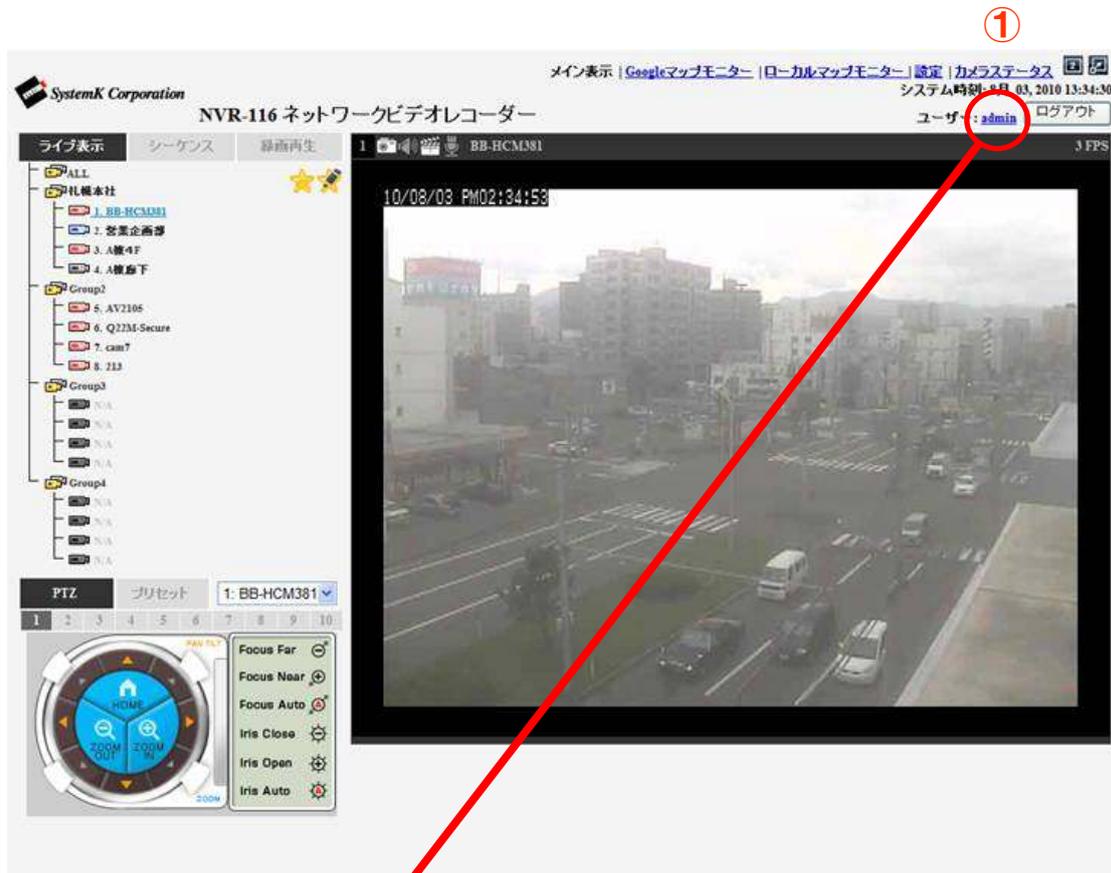


1-2 言語の切り替え

本製品の表示言語を切り替えます。

- (1) 画面右上①の「admin」をクリックします。
- (2) ダイアログが開きますので、「言語」(language) より「日本語」(Japanese) を選択し、「適用」(Apply) をクリックします。
- (3) 画面が日本語に切り替わります。
 - ※ 選択されている言語により、画面表示 (項目名等) は変わります。下記画面は、日本語の画面です。

NVR ファミリー操作説明書



1-3 設定画面

- (1) 設定画面を開きます。
- (2) 画面右上①の「設定」をクリックすると設定画面に切り替わります。



1-4 ネットワークの設定

- (1) メニューから「システム設定」－「ネットワーク設定」を順にクリックします。
- (2) 接続タイプ(固定 IP、または DHCP)を選択します。固定 IP を選択した場合は、手動で本製品に割り当てる IP アドレスを入力します。次にサブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、HTTP ポート番号(通常 80)を入力します。
 - ※ IP 関連の設定では、IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイは必須項目です。必須項目の入力が不足している場合、設定が行えません。ゲートウェイのアドレスが不明の場合は、本製品の IP アドレスを入力して下さい。
- (3) ストリーミングポートは特に変更の必要が無ければ初期設定のままにします。
- (4) 「オプション設定」の「NVR 名」へ任意で記入します(未記入でもかまいません)。
 - ※ 制限文字数を超える場合はエラー表示されます。
- (5) DHCP サーバ機能を使用する場合、[DHCP サーバ]の「オン」を選択します。

本製品の DHCP サーバ機能により IP アドレスが付与されたクライアント(カメラ等)が表示されます。

 - ※ 通常、DHCP サーバはオフを選択します。
- (6) 設定が完了したら適用をクリックします。
 - ※ ストリーミングポート 9877 がネットワーク、または PC で許可されていない場合、ライブ表示や録画再生で「UNABLE TO RECEIVE VIDEO」と表示され、映像は表示されません。
 - ※ インターネット経由で本製品にアクセスする場合は、ルータ等に HTTP ポート並びにストリーミングポートを転送(ポートマッピング)する設定が必要です。
 - ※ ポートマッピングは IP マスカレード、静的マスカレード、バーチャルサーバとも称します。



1-5 DDNS サービスの設定

※本機能を使用するためには事前に DynDns.com サイトから DDNS ドメイン名を取得する必要があります。尚、DynDns.com サイトでのドメイン取得についてはサポート致しておりません。

- (1) ①の「DDNS サービスを有効にする」をチェックします。
- (2) ②の欄に事前に取得した DDNS ドメイン名及びユーザーID・パスワードを入力します。
- (3) ③の「DDNS ステータスの確認」をクリックして設定が正しいか確認し、最後に適用をクリックします。

※NVR から 1 時間毎に現在の IP アドレス情報を確認し、変更されている場合は DynDNS に通知します。※尚、IP アドレスが DNS サーバに浸透するまで時に 30 分以上のタイムラグが生ずることがあります。



1-6 日時の設定

- (1) メニューから「システム設定」－「日時」を選択します。
- (2) タイムゾーン GMT+09 (Osaka, Sapporo, Tokyo, Seoul) を選択します。
- (3) 「手動」「NTPサーバと同期」「PCと同期」のいずれかを選択し、「適用」をクリックします。
- (4) 「NTPサーバと同期」を選択した場合は、「NTPサーバの IP アドレスまたはドメイン名」の入力と「アップデート間隔」を指定します。※初期設定のままでもかまいません。尚、NTTサーバをドメインで登録した場合は、NVR のネットワーク設定で少なくともプライマリ DNS の設定が必要です。※P29 1-4 ネットワークの設定参照

The screenshot displays the web interface for an NVR-116. The top navigation bar includes links for 'Main Display', 'Google Map Monitor', 'Local Map Monitor', 'Settings', and 'Camera Status'. The page title is 'NVR-116 ネットワークビデオレコーダー'. The left sidebar shows a '設定' (Settings) menu with '日時' (Date/Time) highlighted in red. The main content area is titled '日時設定' (Date/Time Setting). It features a dropdown menu for 'タイムゾーン' (Time Zone) set to 'GMT+08 (Beijing, Hong Kong, Shanghai, Taipei)'. There are three radio button options: '手動' (Manual), 'NTPサーバと同期' (Synchronize with NTP server), and 'PCと同期' (Synchronize with PC). The 'NTPサーバと同期' option is selected. Below it, the 'NTPサーバ' (NTP server) field contains 'ntp.ucsd.edu' and the 'アップデート間隔' (Update interval) is set to '24 hr'. A '適用' (Apply) button is located at the bottom right of the settings area.

1-7 ユーザーアカウントの設定

- (1) ここでは本製品にアクセスするユーザーの登録をします。
- (2) オプション以外の項目は全て記入し、①から所属するグループを選択し「追加」ボタンをクリックします。
 - ※ ユーザーグループ設定として、「admin」、「group1」～「group5」、「guest」から選択できます。ライブ表示の「Group 1」～「Group4」とは意味が異なります。
- (3) 同様の手順で順次ユーザーを登録します。

The screenshot displays the 'ユーザーアカウント設定' (User Account Settings) page. At the top, there is a table of existing users:

ユーザー名	グループ	備考
admin	admin	
guest	group5	

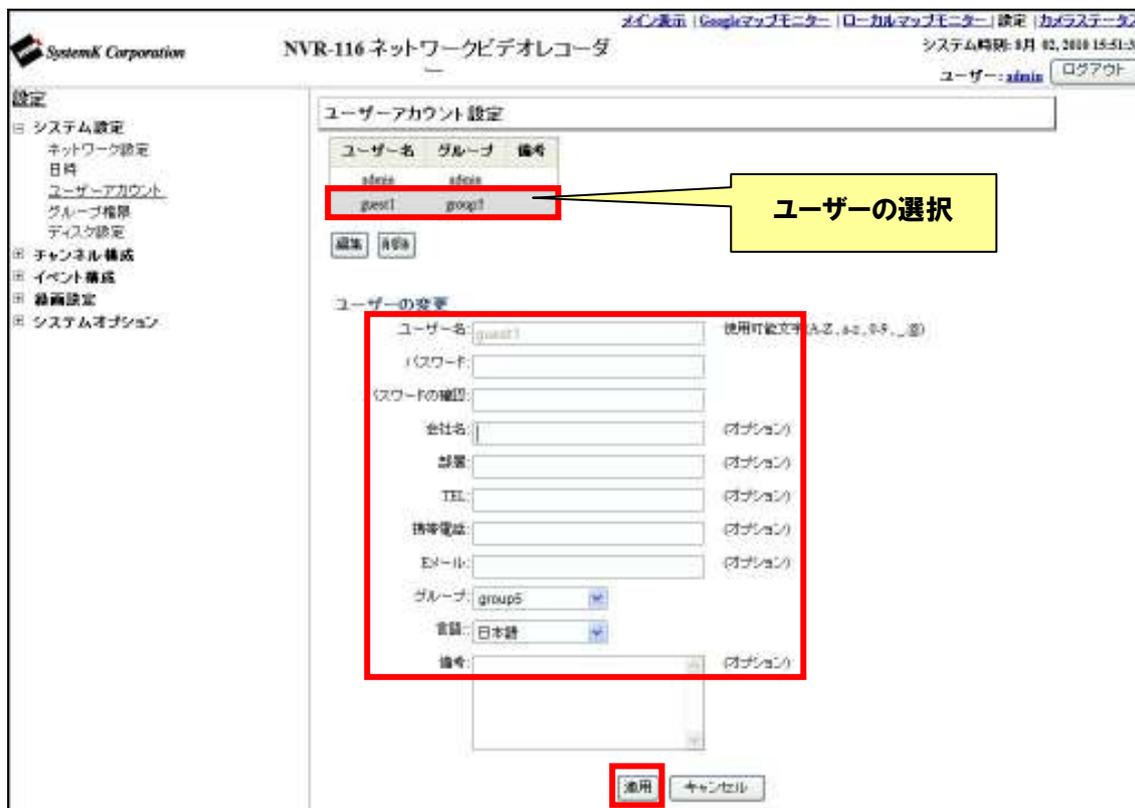
Below the table are '編集' (Edit) and '削除' (Delete) buttons. The 'ユーザーの追加' (Add User) section contains the following fields:

- ユーザー名: (制限: 使用可能文字はA-Z, a-z, 0-9, _)
- パスワード:
- パスワードの確認:
- 会社名: (オプション)
- 部署: (オプション)
- TEL: (オプション)
- 携帯電話: (オプション)
- Eメール: (オプション)
- ① グループ: (Dropdown menu, highlighted with a red box and labeled '1' and 'グループの選択')
- 言語: English (Dropdown menu)
- 備考: (オプション)

An '追加' (Add) button is located at the bottom of the form, also highlighted with a red box.

1-8 ユーザーアカウントの編集・削除

- (1) 登録済みのユーザーを修正する場合は、最初にユーザーの名前を選択し「編集」ボタンをクリックします。
- (2) 次に「ユーザーの変更」欄でユーザー情報を修正し、最後に「適用」ボタンをクリックします。ユーザーを削除する場合は「削除」ボタンをクリックします。



- ※ 同時アクセスは4クライアントまでの接続を推奨します。推奨クライアント数以上の接続の場合、表示画像の遅れが発生する場合があります。なお、全クライアント合計の表示可能ライブ画面の数は48画面です。

1-9 グループ権限の設定

(1) グループを選択します（「Admin:admin」と「Guest:guest」は変更できません）。

グループ名を変更する場合は「グループ名の変更」をクリックし、新たなグループ名を入力します。

(2) 設定したい「アカウントタイプ」を選択します。

※ 項目ごとにカメラチャンネル単位または機能単位の操作対象の有無が設定可能です。
チェックありが有効、なしが無効の設定となります。

(3) 「適用」をクリックします。



■ グループ

(Admin:admin→アカウントタイプ・グループ名の変更不可)

Group1:group1→全てのアカウントタイプへ変更可能

Group2:group2 →全てのアカウントタイプへ変更可能

Group3:group3 →全てのアカウントタイプへ変更可能

Group4:group4 →全てのアカウントタイプへ変更可能

Group5:group5 →全てのアカウントタイプへ変更可能

(Guest:guest→アカウントタイプ・グループ名の変更不可)

■アカウントタイプ

アカウント名	権限内容	備考
アドミニストレータ	全てのアクセス権限を有する	
スーパーバイザー	「システム・オプション」以外の権限を有する	ライブ表示の「ALL」は利用できません。
オペレータ	全ての操作が可能です	システム設定はできません。 ライブ表示の「ALL」は利用できません。
ビューワー	ライブ表示・PTZ の操作のみ可能です。	再生操作およびシステム設定はできません。 ライブ表示の「ALL」は利用できません。
ゲスト	ライブ閲覧のみ可能です。	ライブ表示の「ALL」は利用できません。

※ 操作可能なカメラは、別途カメラ単位で選択できます

1-10 グループ権限の設定

- (1) 新しいハードディスクを本製品に組み込んだ時、最初にフォーマットをします。
未フォーマットのディスクは、「ディスク・ステータス」に「オフライン」と表示されます。
- (2) 最初にフォーマットボタンをクリック、その後 OK をクリックします。完了の表示がされるまで暫くお待ち下さい。フォーマットが完了すると「ディスク・ステータス」に「オンライン」と表示されます。
- (3) フォーマットの 100%表示から完了まで多少時間がかかります。完了表示が表示されるまでそのままの状態を暫くお待ち下さい。

※ ハードディスクのフォーマット中は、決して電源を切らないで下さい。



※ フォーマット後のディスク容量表示は 10 数パーセント程度、初期表示容量より減少します。この部分はシステム側で使用しております。

2. カメラの登録

2-1 カメラの登録手順

2-1-1 カメラの登録

- (1) 「チャンネル構成」 - 「チャンネル設定」画面で「検索」① ボタンをクリックして、ネットワーク(LAN)に接続されているカメラを検索します。
- (2) 検索されたカメラのリストが表示されますので、リストから登録するカメラを選択し、「構成」② ボタンをクリックします。
- (3) 「新しいカメラの追加」の画面に、先ほど選択したカメラの情報が表示されます。
- (4) チャンネル ID、チャンネル名、所属させるグループ、カメラに設定されている「ユーザー名」と「パスワード」、HTTP ポート (80 以外が設定されている場合に変更) を入力し「検知」③ ボタンをクリックします。
- (5) カメラが検知されると、「カメラ設定情報」画面が表示されます。フォーマット、解像度、品質その他を選択、連続録画、録音の有無をチェックし「追加」④ ボタンをクリックしてカメラの登録を完了します。

※ 品質選択の数字と品質の対応は機種毎に異なります。メイン表示画面にて表示される画質を確認して下さい。

例 : Panasonic i-pro シリーズ(1:最高画質>10:最低画質)

Panasonic BB-HCM シリーズ(1:高画質>3:低画質)

AXIS213(10:最高画質>1:最低画質)

- ※ カメラの解像度・フレームレート設定は、カメラの機種毎で選択可能項目が異なります。
- ※ カメラの設定情報は、カメラの機種や選択したフォーマット毎で異なります。
- ※ ビデオポートはカメラに依存します(非対応のカメラがあります)。
- ※ 音声非対応のカメラの場合でも録音のチェック可能ですが、チェックがついていても録音対応はできません。

「プレビュー」⑤ ボタンをクリックすると、カメラの映像を確認することが出来ます。

2 台目以降も引き続き同様の手順でカメラを追加します。

※外部のネットワーク(インターネット)に設置されているカメラの登録は、手動で IP アドレスを入力し、「検知」③ ボタンをクリックします。自動での検索はできません。

※インターネット経由での外部ネットワークに接続されたカメラを登録する場合、カメラまたはルータに固定のグローバル IP アドレス(または DDNS のドメイン)が設定されている必要があります。

チャンネル設定

チャンネル | チャンネル名 | グループ | IPアドレス | フォーマット | 解像度

削除 | 編集

ここをクリックしてカメラを検索してください: **検索** ①

*下記「新しいカメラの追加」から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

チャンネル設定

チャンネル | チャンネル名 | グループ | IPアドレス | フォーマット | 解像度

削除 | 編集

ここをクリックしてカメラを検索してください: **再調査**

*下記「新しいカメラの追加」から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

ブランド	モデル	IPアドレス	HTTPポート	インストーガ
ACTi	CAM5320	10.0.0.1	9806	
Panasonic	BB-HCM381	172.30.224.43	80	

② **構成** *設定するカメラを選択して検索結果をクリックしてから「構成」の下の設定です。

新しいカメラの追加:

チャンネルID: 1
 チャンネル名: BB-HCM381
 グループ: Group1 | グループ名の変更
 IPアドレス: 172.30.224.43
 ユーザー名: user
 パスワード: *****
 HTTPポート: 80

③ **検知** 上記にカメラの設定情報を書き込み、「検知」をクリックして下さい。

カメラ設定情報

ビデオポート: 2000
 圧縮方式: MJPEG
 解像度: 640x480
 画質: 1
 画面: 連続
 録音: 録音

⑤ **プレビュー**

④ **追加** | キャンセル

検索されたカメラのリスト

「新しいカメラの追加」画面

「カメラ設定情報」画面

編集の場合、この部分が「適用」となります。

2-1-2 カメラの編集・削除

- (1) チャンネル設定のチャンネルの番号 ① をクリックすると編集・削除ボタンが有効になります。
- (2) 「編集」② ボタンをクリックすると「チャンネル設定の編集：」の画面に登録データが表示されます。
- (3) チャンネル設定の編集：」の内容を修正してから「検知」③ ボタンをクリックします。
- (4) カメラが検知されると、「カメラ設定情報」の画面に登録データが表示されます。
- (5) 「カメラ設定情報：」の内容を修正してから「適用」④ ボタンをクリックします。
- (6) 「設定を変更しました」とメッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックして変更を完了します。
- (6) カメラの登録情報を削除する場合は、(1)の操作のあと、「削除」⑤ ボタンをクリックします。「カメラを削除しますか？」とメッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックします。次に「設定を変更しました」とメッセージが表示されるので「OK」ボタンをクリックして完了します。

チャンネル設定

チャンネル	チャンネル名	グループ	IPアドレス	圧縮方式	解像度
① 1	IP7138	Group1	172.30.100.171	MJPEG	1280x1024

⑤ ②

③

ここをクリックしてカメラを検索してください。

*下記「新しいカメラの追加」から手動でカメラの設定をする場合は、このステップをスキップして、新しいカメラを追加することができます。

チャンネル設定の編集:

チャンネルID: 1

チャンネル名:

グループ:

IPアドレス:

ユーザー名:

パスワード:

HTTPポート:

③ カメラ情報を修正してから「検知」をクリックしてください。

カメラ設定情報

ビデオポート:

圧縮方式:

解像度:

フレームレート:

画質:

録画: 連続

録音: 録音

④

2-2 OSD(オンスクリーン表示)

- (1) ライブ画像に表示するテキストを設定します。最初に①で設定するチャンネルを選択します。
- (2) 次に②で表示オプションを選択します。表示は、時間、フレームレート、テキスト（任意）の3項目です。
- (3) 次に③で表示させる画面上の位置を指定します。
- (4) 最後に④でテキストの大きさ、文字の背景色等を設定します。
- (5) 設定が完了した後に⑤の適用をクリックします。

※ 日本語でテキスト表示をする場合、フォント選択はデフォルトのままとして下さい。

その他のフォントを選択した場合は文字化けします。

※ テキストは半角英数字、30文字以内で入力してください。



3. PTZ 設定

3-1 PTZ プリセット

ここではチャンネル（カメラ）ごとに、PTZ カメラのポジションナンバー（プリセット番号）の登録を行います。

3-1-1 手動登録

- (1) ①からカメラを選択します。
- (2) 「追加」② ボタンをクリックし、「ポジション名」を選択し、ポジションの名称を入力します。
 - ※ 「ポジション名」は半角英数字 2 文字で入力してください。
 - ※ 日本語で登録されたカメラと同期した場合、文字化けが発生します。その場合、半角英数字 2 文字で再設定して下さい。ポジション名はカメラにより登録可能な数が異なります。
- (3) カメラ映像を見ながら「パン」「チルト」の矢印ボタン、ズーム、フォーカスの各ボタンを操作し、プリセット位置を設定し、「適用」③ ボタンをクリックします。この手順で順次カメラ毎に設定します。

3-1-2 設定変更

- (1) 設定変更をする場合は「ポジション名」④ 欄の数字をクリックして選択（背景色が変わります）し、「編集」⑤ ボタンをクリックします。
- (2) このポジションナンバーをホームポジションに設定する場合は、「ホームポジション」⑥ 欄のラジオボタンを選択します。
- (3) このポジションナンバーをイベント時のプリセット位置に設定する場合は、「イベント発生時プリセットポジション」⑦ 欄のラジオボタンを選択します。
 - ※ ここでのホームポジションの設定は、カメラ本体でのホームポジションの設定とは別となります。

3-1-3 登録の削除

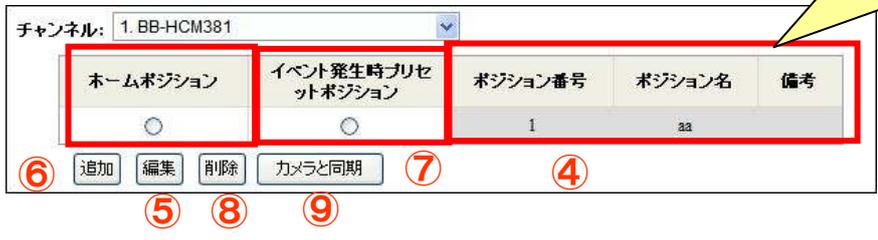
- (1) 登録を削除する場合は「ポジション名」④ 欄の数字をクリックして選択（背景色が変わります）し、「削除」⑧ ボタンをクリックします。

3-1-4 「カメラと同期」による登録

- (1) 「カメラと同期」⑨ をクリックすると、カメラに登録された PTZ 設定リストが表示されます。
- (2) PTZ 設定リスト表示後、3-1-2 「設定変更」の手順にて各種設定を行います。



設定変更する際にクリック



※ 「PTZ プリセット登録」を行うと、カメラ本体側のプリセット登録も設定・更新されます。
本システム以外でもカメラを使用されている場合はご注意ください。

3-2 PTZ ツアー

ここではプリセットした PTZ ポジションを巡回する設定をします

- (1) 「チャンネル」① からカメラを選択し、「プリセットポジション」② の一覧を表示します。
- (2) 「プリセットポジション」欄のカメラ名をクリックして選択し、巡回させたい順に「プリセットシーケンス」③ に「→」で移動させます。

(「←」で「プリセットシーケンス」からはずすこともできます。)

※ 「プリセットシーケンス」欄のカメラ名をクリックして選択し、「↑」「↓」をクリックすることにより、シーケンスの順序の変更ができます。

- (3) 次のポジションに移るまでの時間を、「滞留時間」④ で選択します。

1/2/3/5/10/20/30/45/60 秒を選択することが可能です。

- (4) 設定が完了したら、「適用」⑤ をクリックします。



↑ ↓ ボタンをクリックし、移動順を変更します

4. E-マップモニター

4-1 E-マップモニター[ローカルマップ]の設定

E-マップモニターを使用することで、マップ上にカメラ位置とカメラ映像を表示することができます。

4-1-1 マップ画像の変更

- (1) 「検索」① をクリックし、『アップロードするファイルの選択』ダイアログを表示し、替えたい画像を選択します。
 - (2) 「アップロード」② をクリックし、マップ画像を変更します。
- ※ E-マップとして使用できる画像形式は「jpg」で画像サイズは100KB以内です。

4-1-2 カメラアイコン

- (1)各カメラのアイコンをドラッグし、マップ上の任意の場所へ移動させます。
また、各カメラアイコン左上のチェックボックスのチェックを外すと、ローカルマップモニター表示上でカメラが表示されなくなります。
- (2)設定が完了したら、「適用」③ をクリックします。

アップロード画像:

①

②

SystemK Corporation NVR-116 ネットワークビデオレコーダー

アップロード画像:

BB-HCM381 PTZ

AM4E PTZ

BB-HCM381 PTZ

③

ドラッグして任意の位置へ移動します。



4-2 E-マップモニター[Google Map]の設定

Google Map を利用して地図上にカメラを配置することができます。

広域の複数拠点に NVR を設置している場合、このマップ機能を有効に活用することができます。

4-2-1 カメラ設置場所の地図検索

カメラを設置場所の地図に配置するためには、下記画面から①チャンネルを選択し、設置場所の住所を入力してから『検索』ボタン②をクリックします。カメラアイコンがその位置に自動で移動します。

※Google Map を利用する場合は、NVR をインターネットと接続しているネットワークに設置する必要があります。



5. イベント構成

5-1 一般設定

ここでは「イベントトリガー」の基本的な設定を行います。

設定が完了したら、「適用」⑦ をクリックします。

※ イベントトリガーとはイベントの発生要因のことです。

5-1-1 イベントトリガー有効時間

「イベントトリガー」を有効にする時間帯を設定します

※ イベントトリガーの有効期間の指定時間のみの設定は、カメラのモーション検知とカメラの I/O のイベントのみ有効となります。その他のイベントに関しては、常時有効となります。

※ 初期状態は常時です。

5-1-2 イベントトリガー間隔

イベント発生後、次のトリガーを検知するまでの間隔を設定します。

※ イベントトリガー間隔の設定可能範囲は 5-86400 秒です。

5-1-3 トリガーアクション

イベントトリガーと連動して、電子メールまたは FTP にてメッセージと画像を送信します。

別途、「イベントトリガー」-「トリガーアクション」設定及び、「SMTP サーバ」設定（電子メールの場合）または「FTP サーバ」の設定（FTP の場合）が必要です。

(1) 「件名(対象)」① はオプションです。件名を任意の文章に変更できます(半角英数のみ)。

※ 初期状態[<TIME> : <CH> <TRIGGER> from <IP>]では、イベント発生日時、チャンネル No、トリガーの種類、NVR の IP アドレスが表示されます。

例 : Fri Jul 3 14:54:32 2009 : CH3 MD from 172.30.222.252

(2) 「メッセージの送信」② にチェックを入れると、テキスト入力欄に記載された内容を、メールおよび FTP にて送信して、テキストファイルで確認できます（半角英数のみで、未入力は不可）。

(3) 「FTP ファイルの名前」③ は必須項目です。FTP で送信するテキストファイルの名前を任意で設定できます（半角英数のみ）。また、拡張子（.txt）の記述は不要です。

※ 初期状態[<IP>_<CH>_<TRIGGER>_<TIME>]では、NVR の IP アドレス、チャンネル No、トリガーの種類、イベント発生時間が表示されます。

例 : 192.168.90.9_CH2_MD_2010423-195106

※ 「FTP ファイルの名前」を設定しない場合、ファイルが送信されなくなります。

- (4) 「イメージの送信」④ にチェックを入れると、送信する画像のフレーム数⑤ の変更 (1 ~3) と、「ファイル名」⑥ を任意の名称へと変更できます (半角英数のみ)。また、拡張子(.jpg) の記述は不要です。

※ 送信ファイル名は、「ファイル名_フレーム番号 (0~2) _累計数 (過去も含む) .jpg」となります。

※ファイル名に<IP>_<CH>_<TRIGGER>_<TIME>を入力すると NVR の IP アドレス、チャンネル No、トリガーの種類、イベント発生時間が付与されます。また<TIME>だけ入力すると、イベント発生時間がファイル名に付与されます。

一般設定 ヘルプ

イベントトリガー有効時間

常時
 指定期間のみ: 日 月 火 水 木 金 土
 開始時刻: 00:00 終了時刻: 00:00

イベントトリガー間隔

間隔: 5 秒 (5-86400)

トリガーアクション

① 件名: <TIME> : <CH> <TRIGGER> from <IP>

② メッセージの送信
 テキスト:
 test_mail

③ FTP ファイル名:
 <IP>_<CH>_<TRIGGER>_<TIME>

④ イメージの送信

⑤ 1 フレーム

⑥ ファイル名:

⑦

5-2 イベント構成 I/O 設定

I/O (Input/Output)の各種設定を行います。項目別・設定例 (NVR-116 の設定例) にて説明します。

※304basic には本体 I/O がいないため、NVR トリガイイベント設定はございません。

- (1) トリガイイベント時：トリガイイベントとして使用する、「カメラ」または「NVR」の入力ポートの情報を設定します。
 - (2) カメラ：カメラ本体にある I/O ポートと連動しています。ポート数もカメラが持っている I/O ポート数が表示されます。
 - (3) NVR-116(③)：選択可能な 1～8 の数字が、NVR 本体背面の I/O ポートの「Alarm Input」の 3～10 番目のポートと連動しています。
 - (4) トリガーの出力：トリガイイベントと連動して使用する、NVR 本体のデジタル出力 (DO) ポートの情報を設定します。
- ※ NVR の I/O ポートから出力する用途がなければ設定は不要です。
- (5) NVR-116(⑤)：本体背面 I/O ポートの「Out1～Out4」の 11～14 番目のデジタル出力 (DO) ポートと連動しています。
 - (6) ポート：選択可能なポートが表示されます。
 - (7) 状態：イベントを実行させる際の、入力ポート／出力ポートの状態を選択します。

Open : 「開放」 → 「High」, 「Ground to Open」, 「Rising」

Ground : 短絡 (ショート) → 「Low」, 「Open to Ground」, 「Falling」

Change : 開放と短絡が切り替わった時

- (8) 持続時間：デジタル出力 (DO) の信号の送信時間です。0 にすると接点信号が連続(無限に)出力されます。

※ 無制限出力の解除は、p60 「7-4 デジタル出力 (DO) ステータス」 現在の状態にて変更することができます。

※ イベント I/O 設定例

例 1) : 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」の「NVR トリガー発生要因」・「トリガーアクション」と組み合わせて使用

「イベントトリガー」設定にて登録した NVR 本体の状況（「NVR シャットダウン」など）が発生した場合をトリガーとします。NVR 本体のデジタル出力ポート 1 へ接点信号が出力され、デジタル出力ポート 1 の状態が「Open」になります。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「NVR トリガー発生要因」の任意の要因にチェックを入れ、「トリガーアクション」の「トリガー I/O 出力」にチェックを入れ、適用されている必要があります。

※ 「システム・オプション」 - 「デジタル出力 (DO) ステータス」の「出力 1」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 2) : チャンネル 1 のイベントとして、NVR 本体の Alarm Input ポート 1 が「Open」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 2 へ接点信号が出力され、デジタル出力ポート 2 の状態が「Open」になります。接点信号の出力時間は 5 秒です。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガ発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。

※ 「システム・オプション」 - 「デジタル出力 (DO) ステータス」の「出力 2」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 3) : チャンネル 2 のイベントとして、カメラの I/O ポート 2 が「Open」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 3 へ接点信号が出力され、デジタルポート 3 の状態が「Open」になります。信号の出力時間は 5 秒です。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガ発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。

※ 「システム・オプション」 - 「デジタル出力 (DO) ステータス」の「出力 3」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 4) : チャンネル 3 のイベントとして、NVR-116 本体の Alarm Input ポート 3 が「Open」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 4 へ接点信号が出力され、デジタル出力ポート 2 の状態が「Open」になります。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガ発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。

※ 「システム・オプション」 - 「デジタル出力 (DO) ステータス」の「出力 4」の「通常の状態」が「Ground」になっている必要があります。

例 5) : チャンネル 4 のイベントとして、カメラの I/O ポート 1 が「Ground」になった場合をトリガーとして使用

NVR 本体のデジタル出力ポート 3 へ接点信号出力され、デジタル出力ポート 3 の状態が「Ground」になります。

※ 「イベント構成」 - 「イベントトリガー」 - 「カメラトリガ発生要因」の「I/O 入力」にチェックを入れ適用されている必要があります。

※ 「システム・オプション」 - 「デジタル出力 (DO) ステータス」の「出力 1」の「通常の状態」が「Open」になっている必要があります。

※ 「トリガイイベント時」は「カメラ」または「NVR-116(③)」のどちらを使用するか選択できます (一部のカメラを除き、両方使用することもできます)。

5-3 イベントサーバー

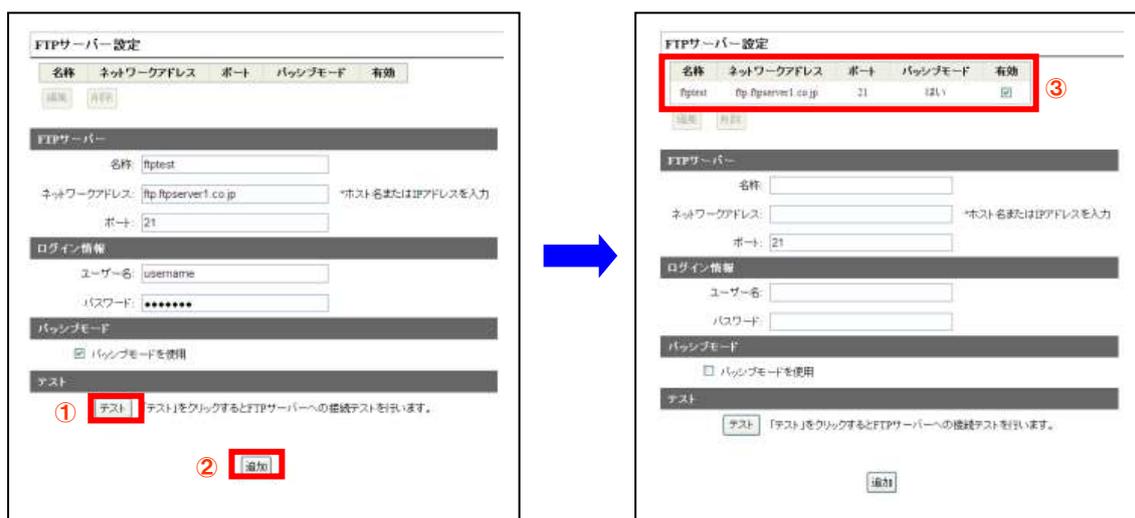
イベント発生時に使用するサーバ情報を登録します。

5-3-1 FTP サーバ

イベント発生時に画像を転送する FTP サーバの設定をします。

※ 通常は「パッシブモードを使用」にチェックを入れます。

- (1) FTP サーバの設定が完了後、「テスト」① ボタンをクリックして FTP 送信の確認をします。
- (2) エラーが発生した場合は、設定項目を確認し修正します。
- (3) テストが OK の場合は、「追加」② ボタンをクリックして完了します。
- (4) FTP サーバが登録されると③の欄に表示されます。
チェックボックスで有効/無効の設定が可能です。



5-3-2 SMTP サーバ

イベント発生時にメールを送信する際に使用する SMTP サーバの設定をします。

- (1) SMTP サーバの設定が完了後、「テストメールの送信」① 欄にテストメールの送信先メールアドレスを入力し、「送信」ボタンをクリックしてメール送信の確認をします。
- (2) メールを受信が確認できなかった場合は、設定項目を確認し修正します。
- (3) テストが OK の場合は、「適用」② ボタンをクリックして完了します。

※ SMTP サーバ 2 の設定は、SMTP サーバ 1 が使用できない場合、バックアップ用のメールサーバー設定となります。通常は設定不要です。 設定する場合は、テストメール送信にて接続確認を実施してください。

※ SMTP 認証は設定可能です。

SMTPサーバー設定

SMTPサーバー 1

ネットワークアドレス: *ホスト名またはIPアドレスを入力

ポート:

送信元名:

送信元メールアドレス:

認証を有効にする:

ユーザー名:

パスワード:

テスト

① テストメールの送信先メールアドレス:

SMTPサーバー 2

ネットワークアドレス: *ホスト名またはIPアドレスを入力

ポート:

送信元名:

送信元メールアドレス:

認証を有効にする:

ユーザー名:

パスワード:

テスト

テストメールの送信先メールアドレス:

②

通常、SMTP
サーバ2は不要

※ SMTP サーバ設定内容

設定項目	記入内容	備考
ネットワークアドレス	ホスト名またはメールアドレス	
ポート	ポート番号	初期値：25
送信元名	任意で記入（文字数 10 文字以内）	未入力の場合、 エラー表示されます
送信元メールアドレス	任意のメールアドレス	

5-4 イベントトリガー

イベントの取り扱いを設定します。

5-4-1 カメラトリガ発生要因 (①)

(1) カメラ本体が受け取ったイベントの使用／不使用を設定します。

- ・ I/O 入力：カメラ本体の I/O ポートに入力された接点信号をトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。
- ・ モーション検知：カメラ本体のモーション検知機能で検知された動きをトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。
- ・ イベント設定：統合管理ソフトでインテリジェント機能を登録すると自動的にチェックが付き、統合管理ソフトでイベントが発生した際に NVR でもイベント録画を開始します。
 - ※ 「モーション検知」の設定を行う場合は、最初にカメラの設定画面でモーション検知機能を有効にしてください。
 - ※ カメラ側に複数の検知エリアを設定できる機種でも、NVR では最初に設定したエリアのみ有効となります。NVR でこの機能を設定する場合は、カメラ側に 1 箇所検知エリアを設定してください。
 - ※ NVR で「モーション検知」の設定を行うと、カメラ本体側の設定も変更される場合があります。カメラを本製品以外のソフトウェアで利用している場合は、注意をお願いします。
 - ※ 「I/O 入力」「モーション検知」両方を使用することもできます。
 - ※ 「イベント設定」は自動的にチェックがつくため手動ではチェックを入れないで下さい。

5-4-2 NVR トリガー発生要因 (②)

(1) NVR 本体の動作をトリガーとして使用する場合にチェックを入れます。

- ※ カメラの死活監視を有効とする場合は「カメラ接続状態の変更」にチェックを入れてください。
- カメラの接続状態が途切れた時と再接続した時にイベントトリガが発生します。

5-4-3 トリガーアクション (③)

(1) 上記の「カメラトリガ発生要因」または「NVR トリガー発生要因」によるトリガーが発生した際のアクションを設定します。

E メール：E メールにてメッセージと画像を送信する場合にチェックを入れます。

※ 「イベント構成」－「イベントサーバー」－「SMTP サーバ」にサーバ情報が登録されている必要があります。

FTP：FTPにてテキストファイルと画像を送信する場合にチェックを入れます。

※ 「イベント構成」－「イベントサーバー」－「FTP サーバ」にサーバ情報が登録されている必要があります。

トリガーI/O 出力：NVR 本体のデジタル出力 (DO) へ接点信号を出力する際にチェックを入れます。

※ 別途「イベント構成」－「I/O 設定」－「トリガー出力」欄での設定が必要です。

※ NVR304basic には本体 I/O が無いため設定できません

ブザー：

・NVR 本体のブザーを鳴らす際に使用します。

※NVR304basic にはブザー機能が無いため設定できません。

特定のプリセットポイントに移動：

・カメラがあらかじめ設定したプリセット位置に移動します。

※ プリセット位置の設定については p41「3-1-2 設定変更」を参照してください。

イベント 取り扱い設定 ①

カメラトリガー発生要因

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
I/O 入力		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
モーション検知		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													
イベント設定		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>													

NVRのモーション検知機能を有効にする前に、カメラの設定画面でモーション検知エリアを正しく設定してください。またNVRがサポートするモーション検知エリアは一つです。カメラに複数の検知エリアを設定した場合は最初に設定した領域だけが有効となります。

NVRトリガー発生要因 ②

上書き録画 NVR起動

ハードディスクフル使用 システム設定の変更

ディスクエラー チャンネル設定の変更時

カメラ接続状態の変更

トリガーアクション ③

Eメール：Eメール アドレス： *複数の送信先は"コンマで区切ります

FTP アップロードパス：

トリガー I/O 出力

ブザー

特定のプリセットポイントに移動

全ての設定が終わったら「適用」をクリックします。

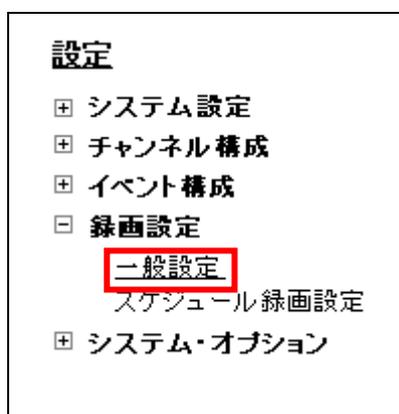
イベントトリガー発生要因とトリガーアクションの関係

発生機器	トリガー発生要因		トリガーアクション対象	アクション内容	
NVR I/O ポート	外部センサーから信号入力		SMTP サーバ	メッセージ、画像送信	
NVR 本体の動作・システム変更	上書き録画		FTP サーバ	FTP サーバ	メッセージ、画像送信
	ディスクフル使用				
	ディスクエラー				
	NVR 起動				
	NVR シャットダウン		NVR I/O 出力ポート	外部機器へ信号送信	
カメラ I/O ポート	外部センサーから信号入力		ブザー	NVR 本体のブザー鳴動	
カメラモーション検知	画像変化		特定プリセットポイントに移動	プリセット位置へのカメラ移動	
カメライベント設定	統合ソフトのイベント				
カメラと NVR の疎通確認	接続不可、再接続				

6. 録画設定

6-1 一般設定

「設定」 - 「録画設定」 - 「一般設定」をクリックします。



6-1-1 録画バッファ (①)

イベント発生前後の録画時間を設定します。イベント発生時を中心に前後数秒の時間を録画します。

プリアラームバッファ :

- ・ イベント発生時からさかのぼって録画する秒数を指定します。
 - ※ プリアラームバッファの秒数は 0,1,2,3 秒から選択可能です。
- ・ ポストアラームバッファ : イベント発生時から後に録画する秒数を指定します。
 - ※ ポストアラームバッファの秒数は 5,10,20,30 秒から選択可能です。

6-1-2 録画フレームレート (②)

各チャンネル (カメラ) に、各録画形式別に録画フレームレートを設定します。

- ※ 手動録画とイベント録画のフレームレートが異なり、手動録画中にイベント録画が重なっている間は、手動録画のフレームレートが優先されます。
フレームレートの優先順位は、手動録画>イベント録画>スケジュール録画>連続録画となります。

6-1-3 画像保存制限 (③)

録画データを保存する日数を指定します。(日数は 1~365 の間で設定してください) 指定した日数より前の録画データは 1 日 2 回(午前・午後 2 時前後)に全て消去されます。尚、設定日数分の保存容量が収納しているハードディスクの容量を上回る場合は指定日時分の保存はできません。

チェックをはずすと、保存期間の制約がなくなります。(ハードディスクが一杯になるまで保存し、その後は上書き保存となります。)

6-1-4 カメラ録画設定 (④)

各チャンネルに録画形式を設定します。

連続 : 常時録画を行います。

スケジュール : 指定された時間帯に録画を行います。

- ※ 時間帯の設定は、P57「6-2 スケジュール録画設定」を参照してください。

イベント : イベント発生前後の録画を行います。 イベントの設定は、P49「5-2 イベント構成 I/O 設定」のトリガイイベント発生時の設定と、P53「5-4 イベントトリガー」のカメラトリガ発生要因の設定によって自動的に選択されます。

6-1-5 録音 (⑤)

各チャンネルに録音の有無を設定します。

※ 音声非対応のカメラの場合でも録音のチェック可能ですが、チェックがついていても録音対応はできません。

録画一般設定

録画トリッパ

プリアラームバッファ: 3 秒

ポストアラームバッファ: 20 秒

録画フレームレート

	1	2	3	4	5	6	7	8	9
連続	1	I Only	I Only	I Only	I Only				
スケジュール	5	I Only	I Only	I Only	I Only				
イベント	Full	Full	Full	Full	Full				
手動	Full	Full	Full	Full	Full				

録画保存制限

1 日以内の録画を保存

カメラ録画設定

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
連続	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>						
スケジュール	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						
イベント	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>						

録音

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
録音	<input checked="" type="checkbox"/>											

適用 キャンセル

全ての設定が終わったら「適用」をクリックします。

6-2 スケジュール録画設定

(1) 画面左メニューの「設定」－「録画設定」－「スケジュール録画設定」をクリックします。

設定

- ⊕ システム設定
- ⊕ チャンネル構成
- ⊕ イベント構成
- ⊖ 録画設定
 - 一般設定
 - スケジュール録画設定**
- ⊕ システム・オプション

- (2) 「チャンネル」① 欄より、スケジュールを設定したいカメラを選択します。
- (3) 「クイック設定」② 欄で曜日と録画時間を指定します。
※ 0時をまたいでの指定はできません
- (4) 「追加」③ をクリックすると「スケジュールテーブル」欄に設定した曜日・日時が黒く塗りつぶされて表示されます。(4) なお、スケジュールテーブルを直接クリックすることにより、指定/解除を行うことが可能です。
- (5) 「選択したチャンネルにスケジュールをコピー」欄⑤でチャンネル(カメラ)を選択してから「適用」⑦ ボタンをクリックすると1つのチャンネルにコピーできます。
- (6) 「すべてのチャンネルにスケジュールを適用」⑥ ボタンをクリックすると、全てのチャンネル(カメラ)に同じスケジュール設定がされます。
- (7) 最後に「適用」⑦ ボタンをクリックし、設定を適用します。

スケジュール録画設定

チャンネル: 1.BB-HCM381 ①

スケジュールテーブル

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日																								
月																								
火																								
水																								
木																								
金																								
土																								

クリア ④

クイック設定 ②

曜日:
日 月 火 水 木 金 土 すべて

録画時間:
終日
指定期間のみ 開始時刻: 10:00 終了時刻: 15:00 ③ 追加

選択したチャンネルにスケジュールをコピー: ⑤

⑥ すべてのチャンネルにスケジュールを適用 ⑦ 適用 キャンセル

7 システム・オプション

画面メニュー左の「設定」－「システム・オプション」をクリックします。

7-1 機器情報

本製品の機器情報を表示します。

設定 <input type="checkbox"/> システム設定 <input type="checkbox"/> チャンネル構成 <input type="checkbox"/> イベント構成 <input type="checkbox"/> 録画設定 <input type="checkbox"/> システムオプション 機器情報 システムログ メンテナンス デジタル出力(DO)ステータス ディスクステータス UPS設定	一般情報 NVR名: モデル名: NVR-116 ファームウェアのバージョン: systemkl.5.4.30026807 システム時刻: Up 25 days 02:56:34, since Jul 09 2010 12:15:06
	ネットワーク情報 ネットワークタイプ: 固定IP 機器のIPアドレス: 172.30.224.252 HTTPポート: 80 ストリーミングポート: 9877 MACアドレス: 00:60:EF:96:57:D6 UPnPポート開放: 無効

7-2 システムログ

システムログが表示されます。

注:システムログはアラート、イベント、ユーザアクセス情報を提示します。

設定 <input type="checkbox"/> システム設定 <input type="checkbox"/> チャンネル構成 <input type="checkbox"/> イベント構成 <input type="checkbox"/> 録画設定 <input type="checkbox"/> システムオプション 機器情報 システムログ メンテナンス デジタル出力(DO)ステータス ディスクステータス UPS設定	<pre> 2009/5/27 1:59:37.28 admin login from 172.30.224.117 2009/5/27 2:35:49.939 Network setting changed by admin(172.30.224.117) 2009/5/27 2:36:33.717 Server start success 2009/5/27 2:36:51.421 admin login from 172.30.224.104 2009/5/27 2:38:20.682 admin login from 172.30.224.103 2009/5/27 5:1:8.978 Channel(2) preset position synchronized by admin(172.30.224.104) 2009/5/27 5:2:59.708 admin login from 172.30.224.104 2009/5/27 8:39:16.598 Time and date setting changed by admin(172.30.224.103) 2009/5/27 8:39:20.218 admin login from 172.30.224.103 2009/5/27 8:44:14.818 Time and date setting changed by admin(172.30.224.103) 2009/5/27 8:44:18.289 admin login from 172.30.224.103 2009/5/27 9:52:47.755 Channel(3) added by admin(172.30.224.103) 2009/5/27 10:2:19.548 Channel(4) added by admin(172.30.224.103) 2009/5/28 0:30:25.298 admin login from 172.30.224.104 2009/5/28 0:33:8.886 Backup profile by admin(172.30.224.104) 2009/5/28 0:39:4.488 Server start success </pre>
--	--

7-3 メンテナンス

ここで本製品システムのメンテナンスを実行できます

7-3-1 NVR 再起動

(1)本製品を再起動する場合は「再起動」① ボタンをクリックします。

7-3-2 NVR 自動再起動

(1)本製品を自動的に再起動する場合は②の再起動にチェックを入れて、再起動する周期、曜日、時間を設定して適用②ボタンをクリックします。

7-3-3 カメラの再起動

(1) カメラを再起動する場合は、カメラを選択して「再起動」③ ボタンをクリックします。

7-3-4 NVR ファームウェアのアップグレード

配布されたファイルを使用し、ファームウェアをアップグレードします。

(1) 「ファームウェアファイルを指定」④ 欄の「検索」ボタンをクリックしてダイアログを開き、ファームウェアファイルを指定します。

(2) 「アップグレード」⑤ ボタンをクリックします。

※ アップグレード中は電源を絶対にオフにしないでください。途中で停止した場合、最悪システムが起動しなくなります。この場合は保証対象外となります。

※ アップグレードを行う前に NVR の設定ファイルのバックアップを取ることをお勧めします。

7-3-5 NVR の設定ファイルをバックアップ

(1) 「バックアップ」⑥ ボタンをクリックすると、本システムを現在の設定をバックアップファイルとしてローカル（クライアント PC）に保存します。

7-3-6 NVR の修復

保存済みのバックアップファイルを適用し、本システムの設定を復元します。

(1) 「設定ファイルの指定」⑦ 欄の「検索」ボタンをクリックしてダイアログを開き、あらかじめ保存してあったバックアップファイルを指定します。

(2) 「修復」⑧ ボタンをクリックします。

※ 修復を行っている間は電源をオフにしないでください。

※ 修復を実施した場合、IP アドレスは DHCP 設定に変わります。付属 CD の「NVR 検索」で NVR を検出して下さい。DHCP サーバ（ルータ等）のないネットワークに接続されている場合は、192.168.101.50 に設定されます。

7-3-7 工場出荷時の状態にリセット

本システムを工場出荷時の設定値にリセットします。

(1) 「復旧工場出荷時に戻す」⑨ ボタンをクリックします。

※ リセットを行っている間は電源をオフにしないでください。

7-3-8 NVR のウェブ UI のロゴを変更

(1) 「検索」⑩をクリックしてダイアログでロゴを開き、ロゴの画像ファイルを指定します。

(2) 「アップロード画像」⑪ ボタンをクリックします。

※ ロゴで使用可能な画像形式は「GIF」で画像サイズは 160(幅)×65(高さ)ピクセル以内です。

NVR ファミリー操作説明書

メンテナンス

NVR再起動

再起動ボタンをクリック

①

NVR自動再起動

下記のオプションを一つ選択:

再起動: 毎週 月 21:00 適用

②

カメラの再起動

カメラを選択して「再起動」をクリックしてください

③

NVRファームウェアのアップグレード

新しいファームウェアを指定し、アップグレードを実行します。(現在のファームウェアバージョン: systemk1.5.4.30026807)

ファームウェアファイルを指定: 次にクリック

④

⑤

注意: 注意:ファームウェアをアップグレードしている間は電源をオフにしないで下さい。アップグレードが完了すると通知されます。

NVRの設定ファイルをバックアップ

ローカルのディスクに設定内容をバックアップします

⑥

NVRの修復

保存されているバックアップ用の設定ファイルを使用し、設定を修復してください。

設定ファイルの指定: 次にクリック

⑦

⑧

注意: 復旧している間は電源をオフにしないで下さい。復旧が完了すると通知されます。

工場出荷時の状態にリセット

すべての設定内容を工場出荷時の設定値に戻します。

⑨

DHCP サーバーからIPアドレスを取得できない場合は、工場出荷時の固定IPアドレス(192.168.101.50)でアクセスしてください。

注意: リセットしている間は電源をオフにしないで下さい。完了すると通知されます。

NVRのウェブUIのロゴを変更

新しいロゴのファイルを指定してロゴを変更

ロゴのファイルを指定してください: 次にクリック

⑩

⑪

7-4 デジタル出力 (DO) ステータス

本製品のデジタル出力ポートの平常時のステータスを設定します。

- (1) 「設定」－「システム・オプション」－「デジタル (DO) 出力ステータス」をクリックします。



■通常の状態：

デジタル出力端子に、通常時セットしておく状態（接点信号待ちの状態）を選択します。

Open : 常開端子 (NO: Normally Open) に設定します。

Ground : 常閉端子 (NC: Normally Close) に設定します。

■現在の状態：

デジタル出力端子の現在の状態を表示／選択します。

ラジオボタンを選択することで、現在の状態を切り替えることができます。出力信号が保持されたままの状態になった時など、この操作で状態を戻します。

Open : 接点出力を開状態（ブレイク状態）に設定します。

Ground : 接点出力を閉状態（メイク状態 (GND)) に設定します。

7-5 ディスク・ステータス

「設定」－「ディスク・ステータス」をクリックします。



7-6 USB 接続バックアップ

※最初にバックアップ用 USB 接続ストレージを FAT32 でフォーマットします。

32GB 以上の USB 接続ストレージご使用の場合は「P78 32GB の USB 接続ストレージのフォーマット方法」を参照してください。

(1) USB 接続ストレージを NVR 前面の USB ポートに接続すると NVR が認識し①の欄にストレージ情報が表示されます。

※同時にバックアップできる USB 接続ストレージは1つのみとなっております。

(2) データのバックアップをするチャンネルを②の欄からチェックします。

(3) バックアップする開始時間と、終了時間を③で指定します。

(4) 最後に④の「バックアップ」ボタンをクリックします。

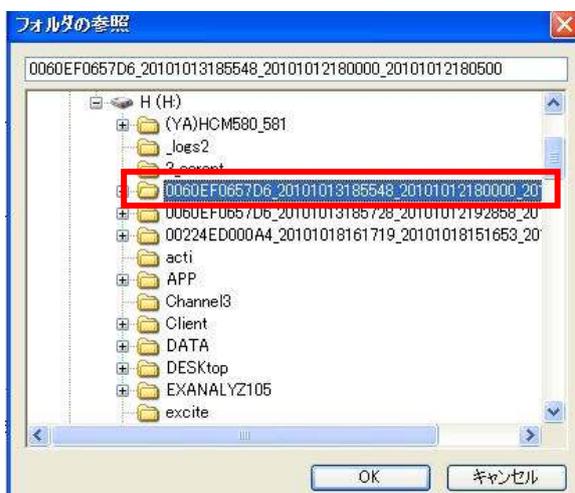
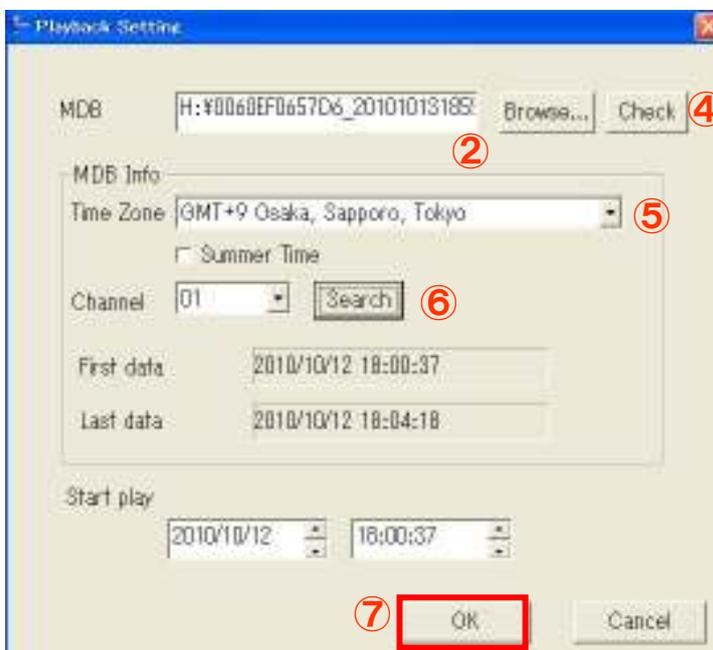
(5) バックアップデータの再生は、付属 CD の NVR Media Player で再生します。



7-7 NVR Media Player の使用方法



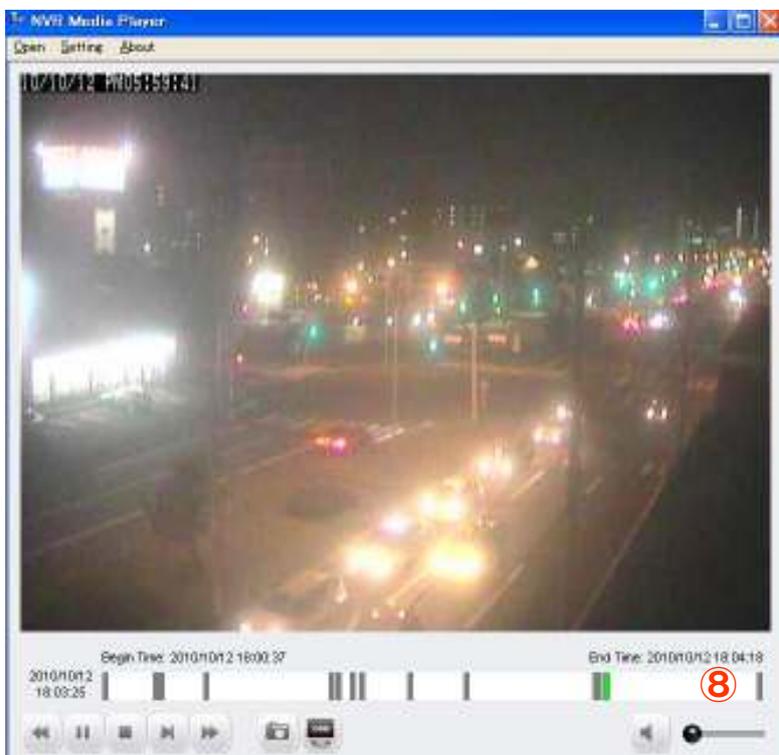
- (1) メニューから①Open>Media Data Base をクリックします。
- (2) 下記画面が表示されるので②「Browse」ボタンをクリックして出力したデータフォルダを検索します。



- (3) メディアデータ③が検索されたら OK ボタンをクリックします。
- (4) 次に④の「チェック」ボタンをクリックしてデータを確認します。確認出来たら下記メッセージが表示されます。



- (5) ⑤からタイムゾーンを選択します。(※日本国内の場合は GMT+9 を選択します)
- (6) 次に⑥の「Search」ボタンをクリックするとデータの情報が表示されます。
- (7) 最後に⑦「OK」ボタンをクリックすると下記画面が表示され、再生が可能となります。
- (8) ⑧の欄のグレーで表示される箇所をクリックすると再生が始まります。

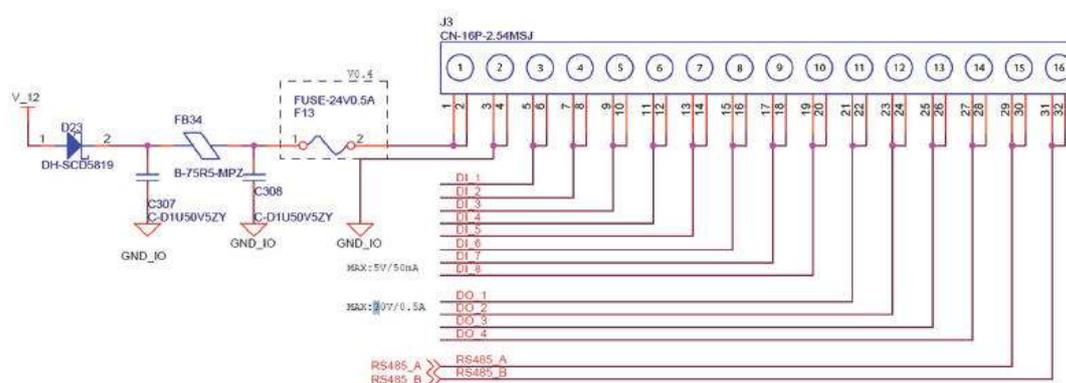


7-8 UPS 設定

UPS 管理機能は将来本製品のファームウェアバージョンアップで対応予定です。
現状では本機能は使用しないで下さい。本機能は本製品の保証対象外となります。

付録

I/O ポートと RS485



Pin	Signal
1	12V DC
2	GND
3~10	Alarm input
11	Out1
12	Out2
13	Out3
14	Out4
15	RS485+
16	RS485-

製品仕様

本製品の仕様につきましては付属 CD 内のデータシートでご確認ください。

Axis241Q ビデオサーバのイベント録画手順

Axis ビデオサーバ 241Q の各カメラを NVR に登録する場合、ビデオサーバのモーショントリガー設定はデフォルトでビデオ 1 に設定されます。

ビデオサーバのビデオ 2 以降のカメラのモーショントリガーを設定する場合、下記手順で設定をしてください。(ビデオ 2 (CH2) に対応する場合を例として説明いたします。)

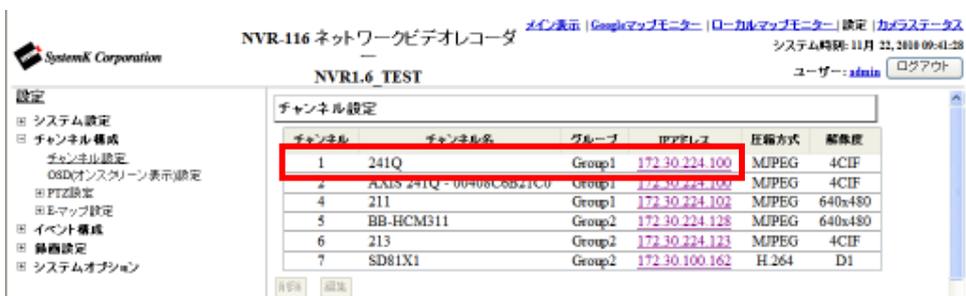
1. ビデオサーバのビデオ 2 を NVR に登録します。



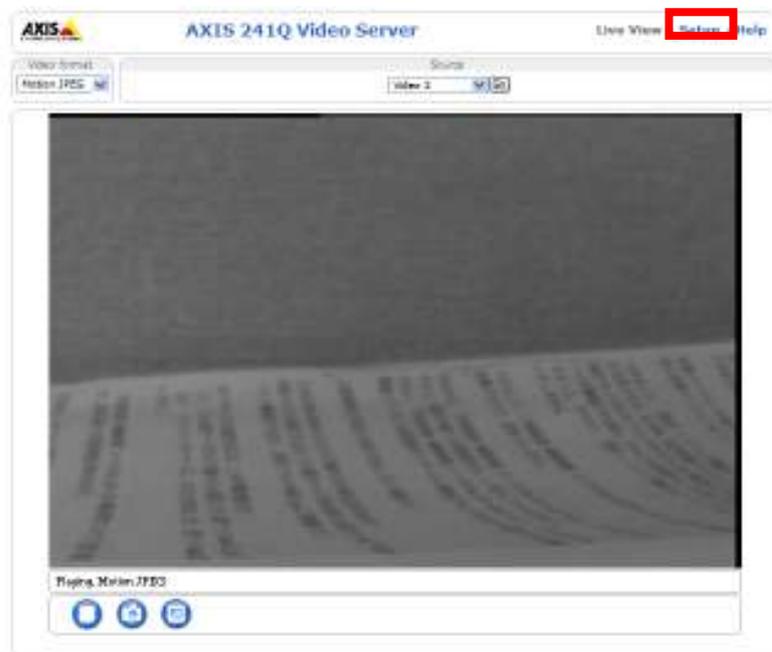
2. イベント構成→イベントトリガー→カメラトリガ発生要因のモーション検知チェックボックスにチェックをしてモーションイベントを有効にしてください。



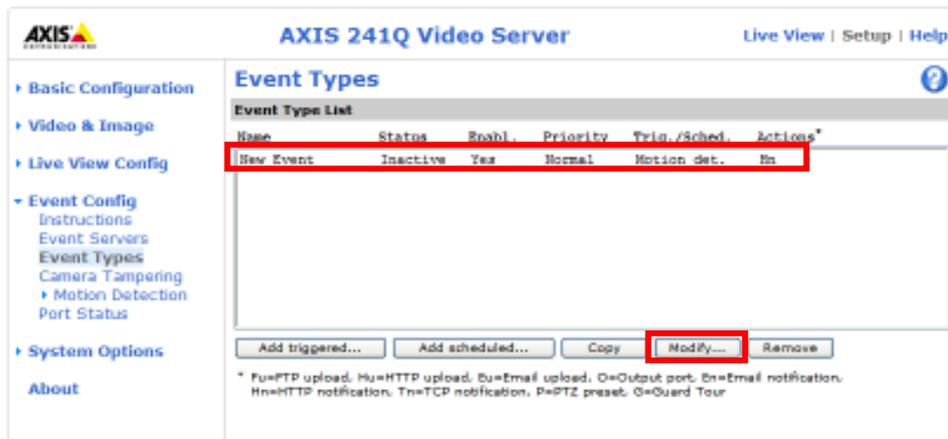
3.チャンネル構成→チャンネル設定→からビデオサーバのウェブページにアクセスします。



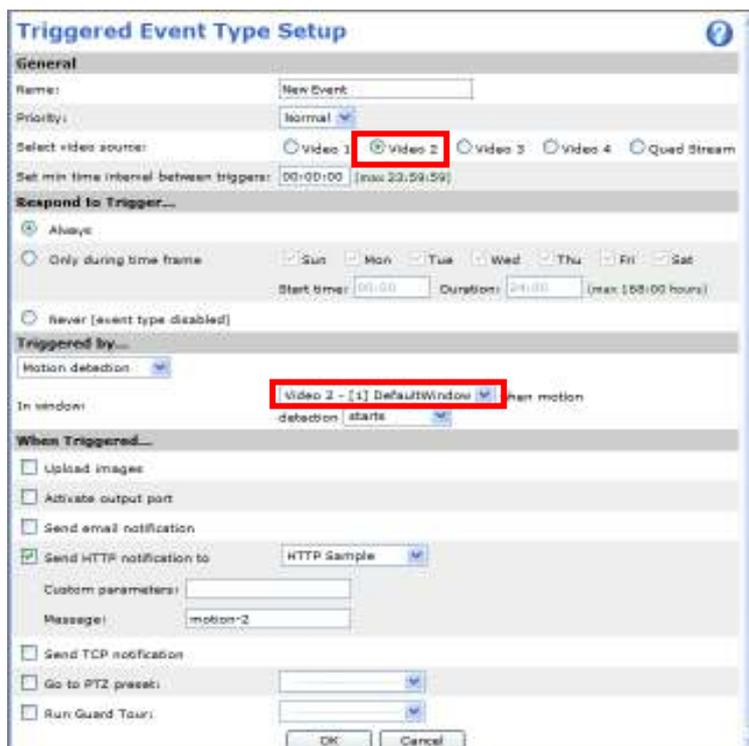
4.カメラサーバのウェブページ上にある「Setup」を選択します。



5.Event Config→Event Types→Event Types List から該当するカメラ項目を選択し、「Modify」をクリックしてください。



6.下記赤枠で囲まれた 2 つの設定項目 (Select video source, Triggered by...) の設定を Video1 から Video2 に変更して「OK」をクリックしてください。



以上で、ビデオサーバのビデオ 2 のイベント通知設定は完了いたします。

以下、同じ手順でビデオ 3、ビデオ 4 を設定します。

スマートフォンによる閲覧

スマートフォンによる NVR へのアクセス方法並びに操作方法

1. お使いのスマートフォンのブラウザから NVR の固定 IP もしくはドメインを入力します。
2. ログイン画面から NVR のユーザー名とパスワードを入力しログインします。
3. 下記画面が表示されます。※下記は iPhone の画面です。

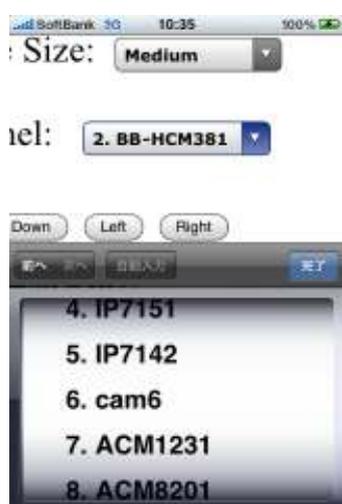


- ※ 注：スマートフォンで NVR へアクセスするためには NVR 設置拠点のインターネット回線を提供しているプロバイダーから固定 IP を取得するか、若しくはルーターメーカー(またはカメラメーカー)が提供する DDNS ドメインサービスのご利用が必要となります。
- ※ DDNS サービスの一例：Panasonic のみえますねっと(有料)、YAMAHA のネットボランチ(無料)、COREGA のコレガネット(無料)

4. Image Size 選択メニュー①からスマートフォン上で表示する画像サイズを選択します。
5. Channel 選択メニュー②から閲覧したいカメラ名を選択します。
6. パンチルト操作は、画面上に表示されているボタン操作で行います。



※ 下記画面は、登録カメラリスト、画像更新感覚画面です。



スマートフォン閲覧の基本仕様

項目	内容
ライブ表示間隔	5 秒に 1 枚、毎秒
表示カメラ台数	1 台
対応スマートフォン	iPhone(アイフォン)、Android(アンドロイド)、Windows Mobile
対応ブラウザ	Safari(サファリ) IE Mobile

NVRMobileViewer の使用方法

まず、iPhone で「NVRMobileViewer」と入力してアプリを検索、インストールします。
アイコンをタッチして NVRMobileViewer を開きます。



1.NVR 登録

サーバ(NVR)リストが表示されますので、画面右上アイコンをタッチして検索をタッチします。



NVR の IP アドレス及びログイン情報を入力して、画面右上アイコンをクリックします。

保存をタッチして、NVR 登録は完了です。

自動ログインをオンに設定すると、次回ログイン時からユーザー名、パスワードの入力をせずにログインが可能です。



NVR リストは、下記画像のように表示されます。

タッチするとログインできます。

表示された NVR をタッチしたまま右にスライドすると削除アイコンが表示されます。



2. ライブ画面機能、録画再生

登録した NVR にログインすると、登録されているカメラがリストに表示されます。
カメラアイコンをタッチすると、ライブ映像が表示されます。
ライブ画面右下のアイコンをタッチするとスナップショットが取得できます。



ライブ画面右上をタッチすると下記メニューが表示され、タッチすると各機能が実行できます。

- ・ 比率を固定→映像を引き伸ばして画面一杯に表示します。
- ・ 音声→ライブ音声再生されます。音声再生中はアイコンが表示されます。
- ・ 録画再生→録画データ検索画面に移動します。

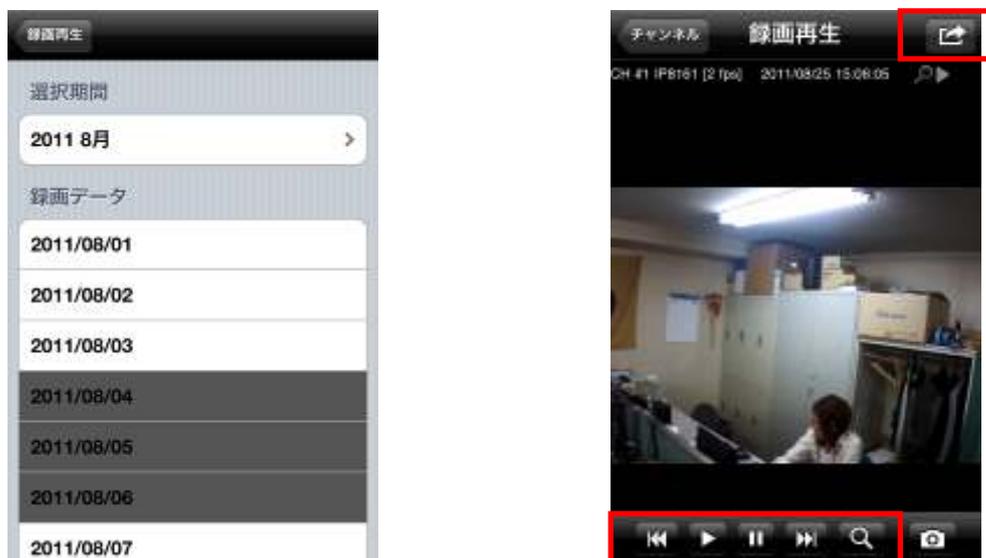


録画検索は選択期間から検索したい日を選択します。

録画データがある日は黒く表示されますので、見たい日をタッチします。

日→時間→分→秒とタッチしていくと録画データが再生されます。

ライブ画面下で録画映像の早送り、巻戻し、一時停止が録画映像の再検索が実行できます。



ライブ画面同様、録画機能も画面右上をタッチして表示されたメニューから各機能が実行できます。

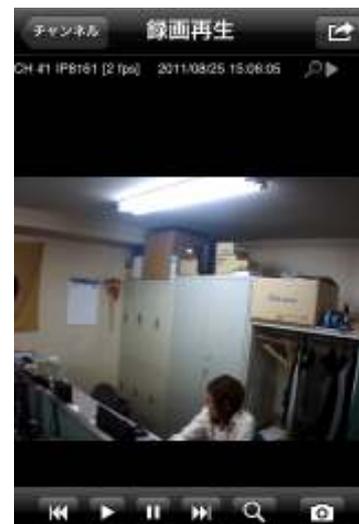
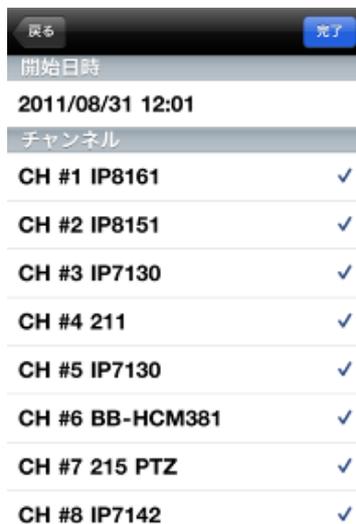
- ・ 比率を固定→映像を引き伸ばして画面一杯に表示します。※前頁参考
- ・ 音声→録音音声再生されます。音声再生中はアイコンが表示されます。※前項参考
- ・ ライブ→現在録画再生しているカメラのライブ画面へ移動します。



カメラリスト画面右上の「イベントアイコン」をタッチするとイベント検索ができます。検索をタッチするとイベントリストが表示されます。最新イベントをタッチすると、現在の時刻から近いイベント録画データが表示されます。

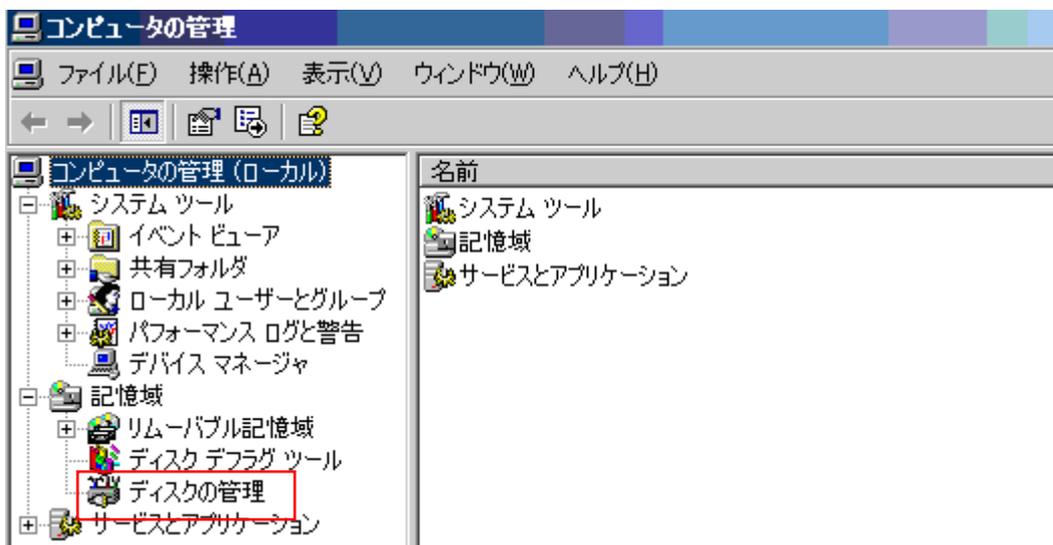


開始日時をタッチすると下記画像真中の画面が表示され、検索日時の変更ができます。
チャンネルをタッチするとイベント録画データがある場合、リストに表示されますのでタッチするとイベント録画映像が表示されます。



32GB 以上の USB 接続ストレージのフォーマット方法

- (1) PC にお使いの USB ストレージを接続し、デスクトップの「マイコンピュータ」アイコンを右クリックし「管理」メニューをさらにクリックすると下記画面が開きます。

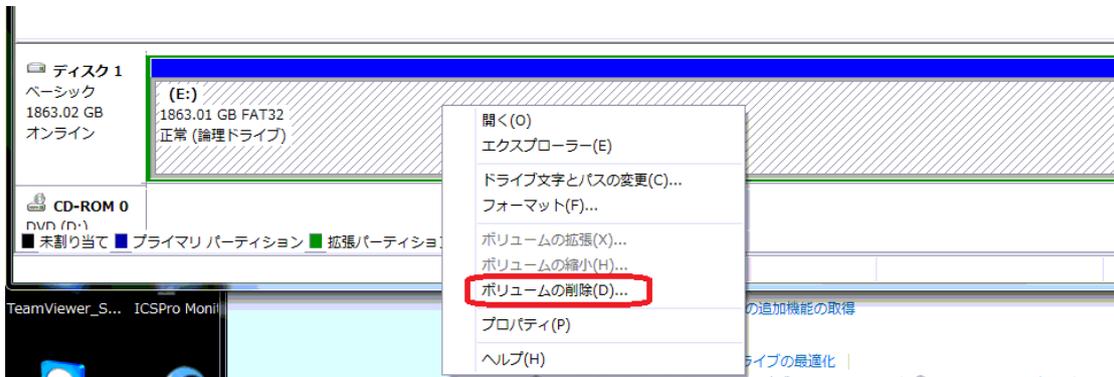


- (2) 次に上記画面の「ディスクの管理」をクリックして下記の画面を開いて接続した USB ストレージを選択してください。

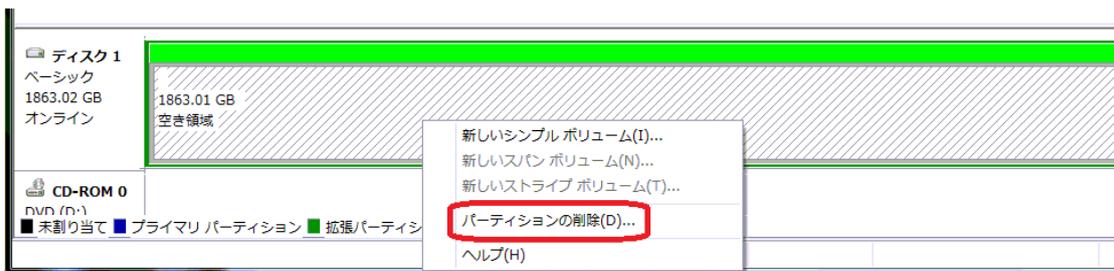


NVR ファミリー操作説明書

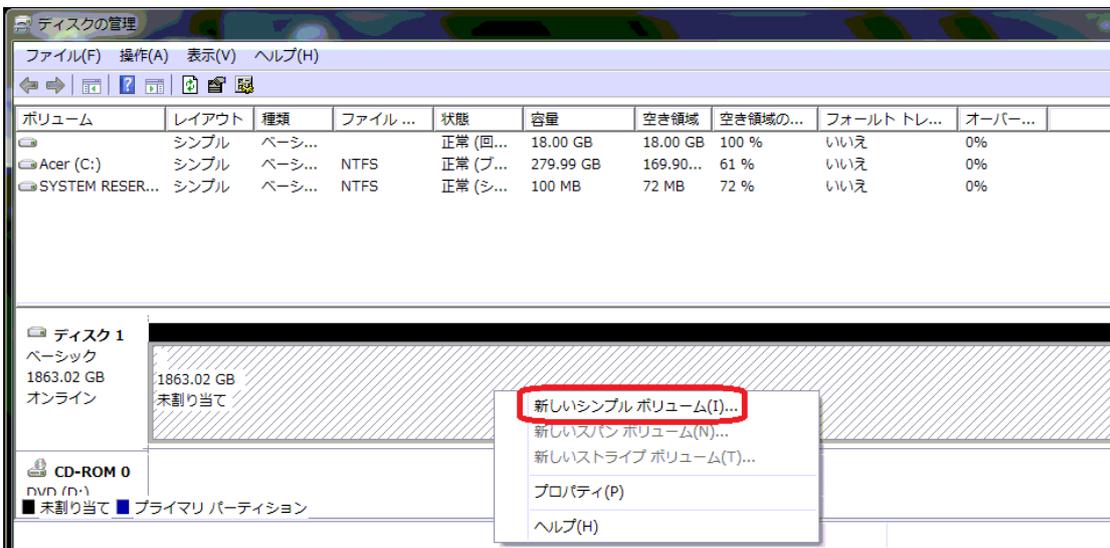
(3) 理論ドライブ(ブルー)を削除してください。



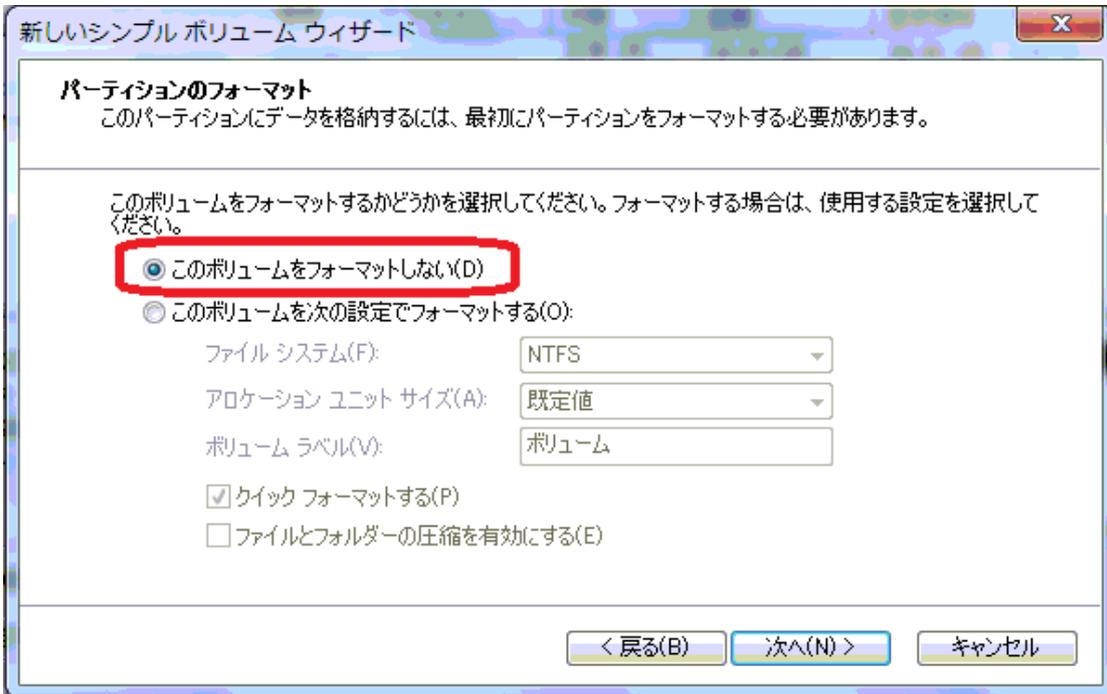
(4) 拡張パーティション(緑色)を削除してください。



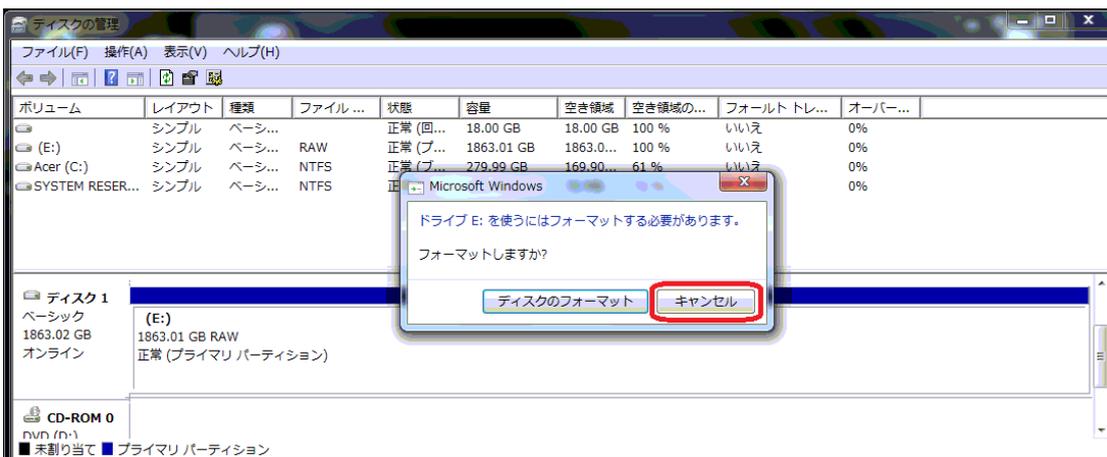
(5) この時の HDD はパーティション無し(黒色)状態です。ここから、単一の新しいパーティションを作成してください。



- (6) 「次へ」をクリックしていき、下記の画面で「このボリュームをフォーマットしない(D)」を選んでください。



- (7) 「フォーマットしますか?」と表示されますので「キャンセル」を選んでください。



(8) guiformat(フォーマットソフト)でHDDをFAT32にフォーマットしてください。

Allocation unit size項目を手動で入力しないでください。Guiformatは自動的にベスト値を選びます。「Start」をクリックしてください。

これでフォーマットは完了です。

※guiformatのインストールは本製品のサポート対象外です。

